

5 施策評価

(1) 施策評価の概要

施策評価は、第1期実行計画に掲げた40の施策を評価単位として、各施策に設定した成果指標の目標値に対する達成度、事務事業評価結果に基づき、施策配下の事務事業を効果的にマネジメントしているか、分析・検証し、今後の方向性について検討をするものである。

施策評価シートの作成は、施策主管部局の担当課長が行い、施策配下の事務事業が複数部局にまたがる場合は、部局間の情報共有と連携を図る。

(例) 施策20琵琶湖を始めとする自然環境の保全…環境部、産業観光部、都市計画部)

(2) 評価の進め方

◆① 施策概要の把握

施策の課題、目標とする姿、視点、指標、視点の主な取組について、実行計画に記載している内容を確認する。



◆② 指標の目標達成度の把握

実行計画において、施策の成果や効果を測る定量的で客観性のある「成果指標」を設定し、基準値と目標値を示している。当該指標について、評価年度の達成度を把握する。



◆③ 令和元年度に実施した市民意識調査結果の活用

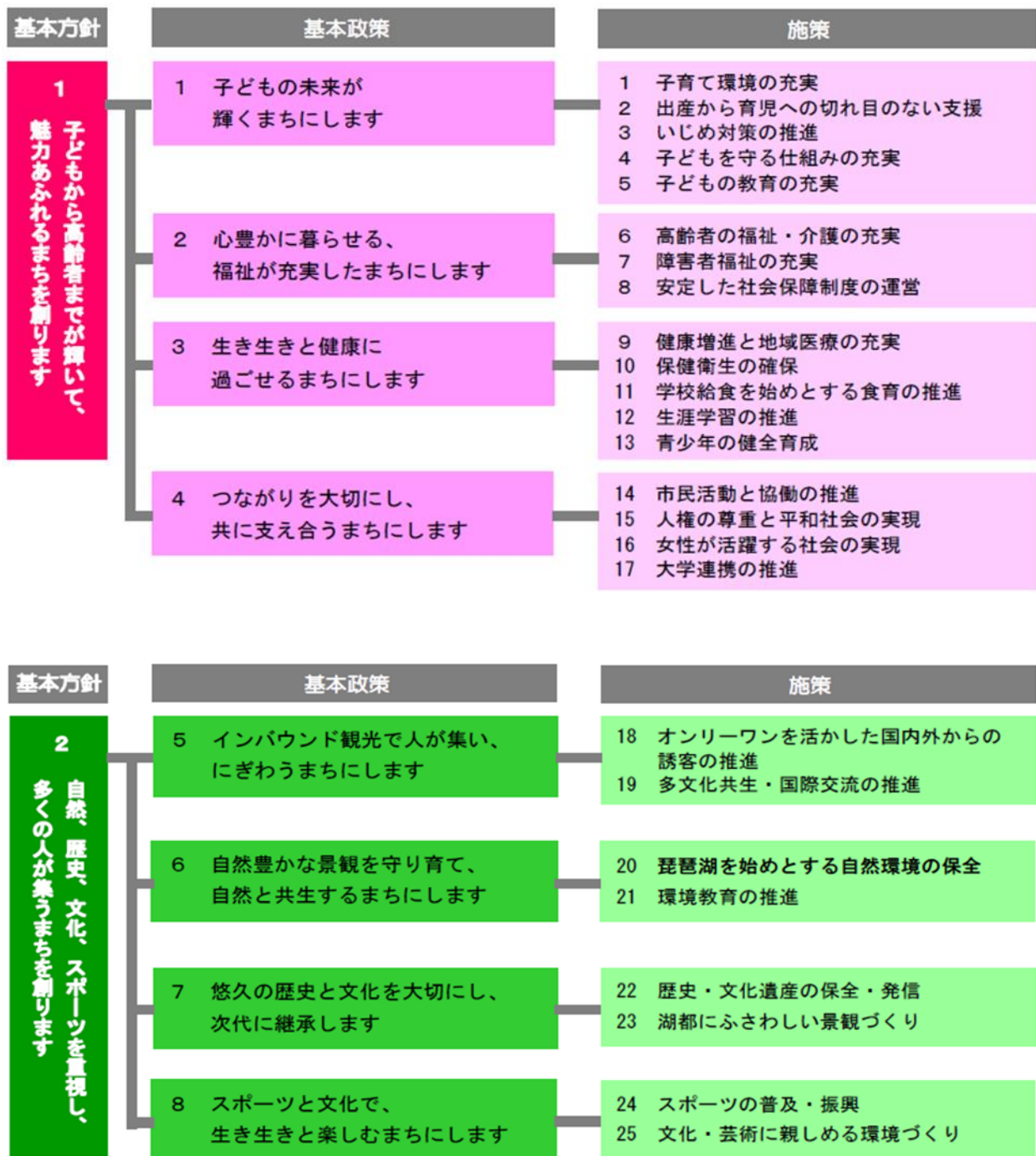
本市が取り組む施策について、令和元年度に市民意識調査を実施した。市が進めている各施策の取組みについて、市民が感じている満足度、重要度等を調査した結果を評価に活用する。

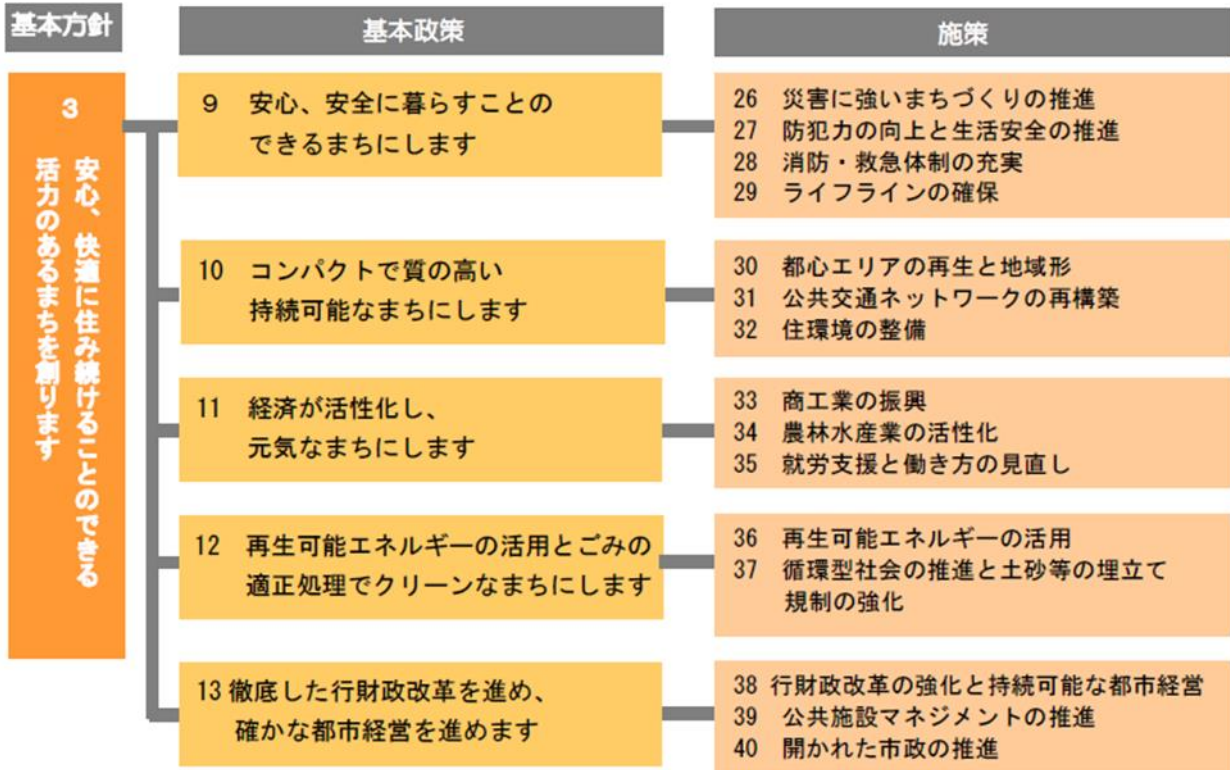


◆④ 施策の評価及び方向性

指標の達成度に基づいて施策を評価するとともに、施策配下の事務事業評価結果並びに市民意識調査による市民満足度、重要度等を活用しながら、今後の方向性（見直し・追加・削除）について検討する。

(3) 施策体系 (第1期実行計画)





(4) 施策評価シートの見方

施策1

令和2年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部	所管課	子ども家庭課
施策名	01	子育て環境の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創	① 基本情報
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします	

<2. 施策概要>

課題	少子化や核家族化の進行、保護者の働き方の多様化、女性の更なる活躍推進などにより、保育サービスなどの子育て支援に対するニーズが多様化する一方で、地域でのつながりの希薄化等を背景に、誰にも相談できず子育てに不安を抱く親も少なくない。	② 施策概要
目標とする姿	“待機児童ゼロ”を始め、保育・幼児教育及び児童クラブの「量」の確保と「質」の向上により、若い世代が喜びを持って安心して子育てをし、子どもが健やかに成長することができる「子育てするなら大津」と言われる環境が整っている。	
視点	1 保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上 2 市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と規模の適正化 3 子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進	

<3. 成果指標>

指標					③ 成果指標			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 待機児童数	人	0	0	0	58	0	-	
2 3年保育の実施率	%	0.00	100.00	28.00	52.00	79.00	-	
3 地域子育て支援拠点利用者数	人/年	148,632	157,000	144,025	140,985	117,548	-	

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位	◆評価	④ 市民意識調査結果
満足度	3.15	5	【満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点】	
重要度	4.12	4	【重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点】	

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・3年保育になり働き始めようと思えるようになった
- ・保育士の待遇向上と質の向上が必要
- ・待機児童ゼロは素晴らしい
- ・児童クラブの充実を願う
- ・保育士が不足していると思う

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				⑤ 施策配下の事務事業評価結果				
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
17	2	4	0	23	6,379,924	22	11,077,991	17,457,915

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、

⑥ 評価

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	○	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>成果指標のうち、待機児童数については、目標値である0人を達成し、また、幼稚園の3年保育の実施率についても当初の計画どおりに実施園を増やすことが出来ており、順調である。</p> <p>一方、地域子育て支援拠点利用者数については、幼稚園の3年保育の実施及び民間保育園の新規開設等の影響を受けて減少し、目標値を下回った（達成率74.8%）ため、施策全体の評価は「ほぼ順調」としている。</p> <p>これまでの取組において、保育所の定員確保は一定進んだことから、今後は保育の「質」の向上に軸足を移していくとともに、放課後児童クラブの充実を図り、すべての子どもたちが心身ともに健康に成長できるよう、子ども・子育て支援の充実を目指していく。</p>	⑦ 評価コメント
-------	--	----------

① 基本情報

総合計画の政策体系で、3つの基本方針及び13の基本政策中、どの体系に属する施策であるかを示している。

② 施策概要…3つの視点で分かりやすく簡潔に示す。

課 題	施策に関わる一般的な課題や、大津市の抱える課題
目標とする姿	施策を実行することで実現を目指す、まちや市民の状態
視 点	施策を実現するために、特に力を入れることが必要、又は、効果的であると思われる視点

③ 成果指標

総合計画第1期実行計画の各施策に掲げた数値目標に加え、一部の施策で、各評価主管課により設定された数値目標を指標として掲げている。

④ 市民意識調査結果

令和元年度に実施した市民意識調査の結果データ及び主な意見を評価の際に、資料の一つとして活用している。

ア 調査対象・方法

項 目	内 容
対象地域	大津市全域
調査対象	大津市に居住する18歳以上の男女、3,000人
抽出方法	住民基本台帳を用いた無作為抽出
調査方法	郵送による配布、郵送・WEBによる回収
調査期間	調査票発送：令和元年9月5日（木） 回収期限：令和元年9月24日（火）

イ 回収状況

①配布数	②回収数			③有効回収率
	郵送	WEB	有効回収数	
3,000	1,061	151	1,212	40.4%

ウ 集計方法

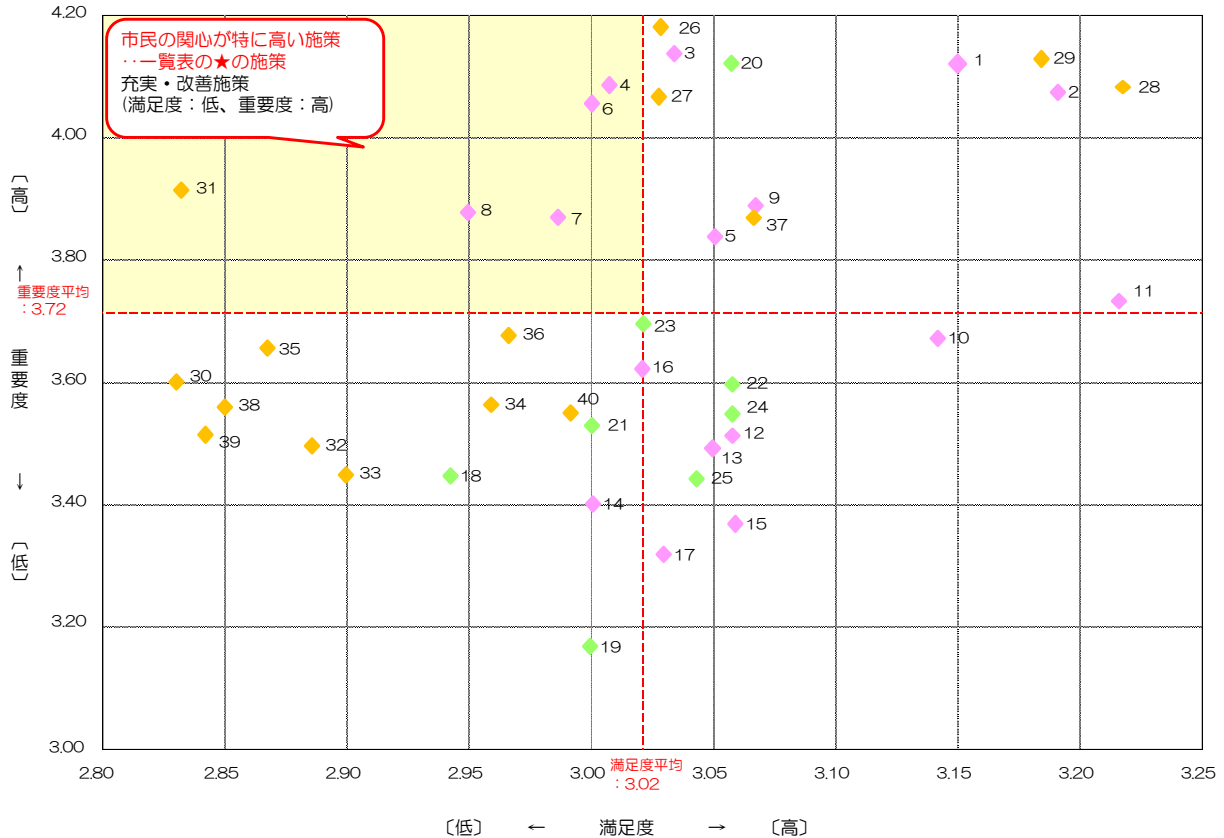
項目	概要
性別集計	男性、女性、その他の3区分で集計
年代別集計	18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80歳以上の7区分で集計
居住区域別集計	37小学校区別の居住区域で集計
同居家族別集計	1人（本人のみ）、夫婦のみ、二世帯家族、三世帯家族、その他の5区分で集計
子ども・高齢者有無別集計	子ども（15歳以下）、高齢者（65歳以上）の有無で集計
居住年数別集計	2年未満、2年以上5年未満、5年以上10年未満、10年以上30年未満、30年以上の5区分で集計
まちづくり施策集計	40施策について、 満足度は、満足、やや満足、普通、やや不満、不満 重要度は、重要、やや重要、普通、やや重要でない、重要でないの5区分で、5点から1点を与え集計

工 令和元年度市民意識調査結果一覧

施策番号	施策	満足度		重要度		
		得点	順位	得点	順位	
1	子育て環境の充実	3.15	5	4.12	4	
2	出産から育児への切れ目のない支援	3.19	3	4.07	8	
3	いじめ対策の推進	3.04	17	4.17	2	
★	4	子どもを守る仕組みの充実	3.01	23	4.09	6
5	子どもの教育の充実	3.05	15	3.83	16	
★	6	高齢者の福祉・介護の充実	3.00	25	4.06	10
★	7	障害者福祉の充実	2.98	29	3.86	15
★	8	安定した社会保障制度の運営	2.95	32	3.87	14
9	健康増進と地域医療の充実	3.07	7	3.89	12	
10	保健衛生の確保	3.14	6	3.67	20	
11	学校給食を始めとする食育の推進	3.22	2	3.73	17	
12	生涯学習の推進	3.06	11	3.52	30	
13	青少年の健全育成	3.05	14	3.49	32	
14	市民活動と協働の推進	3.00	26	3.40	37	
15	人権の尊重と平和社会の実現	3.06	12	3.38	38	
16	女性が活躍する社会の実現	3.02	22	3.61	22	
17	大学連携の推進	3.03	18	3.31	39	
18	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進	2.94	33	3.44	36	
19	多文化共生・国際交流の推進	3.00	27	3.18	40	
20	琵琶湖を始めとする自然環境の保全	3.06	10	4.12	5	
21	環境教育の推進	3.00	24	3.54	29	
22	歴史・文化遺産の保全・発信	3.06	9	3.60	23	
23	湖都にふさわしい景観づくり	3.02	21	3.71	18	
24	スポーツの普及・振興	3.06	13	3.54	28	
25	文化・芸術に親しめる環境づくり	3.04	16	3.45	35	
26	災害に強いまちづくりの推進	3.03	20	4.19	1	
27	防犯力の向上と生活安全の推進	3.03	19	4.06	9	
28	消防・救急体制の充実	3.22	1	4.07	7	
29	ライフラインの確保	3.18	4	4.14	3	
30	都心エリアの再生と地域形成	2.83	39	3.60	24	
★	31	公共交通ネットワークの再構築	2.83	40	3.92	11
32	住環境の整備	2.88	35	3.49	33	
33	商工業の振興	2.90	34	3.45	34	
34	農林水産業の活性化	2.96	31	3.57	26	
35	就労支援と働き方の見直し	2.87	36	3.65	21	
36	再生可能エネルギーの活用	2.97	30	3.68	19	
37	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化	3.07	8	3.88	13	
38	行財政改革の強化と持続可能な都市経営	2.85	37	3.57	25	
39	公共施設マネジメントの推進	2.84	38	3.51	31	
40	開かれた市政の推進	2.99	28	3.56	27	
	平均	3.02	-	3.72	-	

★ …市民の関心が特に高い施策（充実・改善施策）を表す。

満足度と重要度の関係（令和元年度市民意識調査）



⑤ 施策配下の事務事業評価結果

- ・ 当該施策の配下に属する事務事業の総合評価結果の内訳を表示
- ・ 評価対象事業数及びその事業費の表示
- ・ 評価対象外の事業数及びその事業費の表示
- ・ 令和元年度の総事業費（決算額）の表示

上記項目の内、事業費に含まれる人件費は、正規・嘱託・臨時・再任用職員の各々の平均給与に職員工数を乗じて算出している。

⑥ 評価

各施策に設定した各年度における目標値に対する実績値を基に達成率を算出し、4段階（◎：順調、○：ほぼ順調、△：やや不調、×：不調）で評価している。

●達成率に基づき、下記の区分で評価

達成率	評価
90%以上	順調
75%以上 90%未満	ほぼ順調
60%以上 75%未満	やや不調
60%未満	不調

⑦ 評価コメント

上記の評価や施策配下の事務事業の取組状況等を踏まえ、総合的な評価や課題、今後の取り組みや施策の方向性等について主管部局のコメントを掲載している。

(5) 施策評価結果について

① 施策評価結果一覧表

【※評価欄の表示は、◎：順調、○：ほぼ順調、△：やや不調、×：不調 を示す。】

方針 番号	基本方針	政策		施策		施策所管所属 所属名称	評価		
		番号	基本政策	番号	施策		H29	H30	R元
1	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	1	子どもの未来が輝くまちにします	1	子育て環境の充実	子ども家庭課	◎	◎	○
				2	出産から育児への切れ目のない支援	健康推進課	◎	◎	◎
				3	いじめ対策の推進	人権・男女共同参画課	◎	◎	◎
				4	子どもを守る仕組みの充実	子ども家庭相談室	◎	○	◎
				5	子どもの教育の充実	学校教育課	◎	◎	◎
		2	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします	6	高齢者の福祉・介護の充実	長寿政策課	◎	○	○
				7	障害者福祉の充実	障害福祉課	◎	◎	◎
				8	安定した社会保障制度の運営	保険年金課	○	○	△
		3	生き生きと健康に過ごせるまちにします	9	健康増進と地域医療の充実	保健総務課	◎	◎	◎
				10	保健衛生の確保	衛生課	○	○	○
				11	学校給食を始めとする食育の推進	衛生課	◎	○	◎
				12	生涯学習の推進	生涯学習課	○	◎	◎
				13	青少年の健全育成	文化・青少年課	◎	◎	◎
		4	つながりを大切に、ともに支えあうまちにします	14	市民活動と協働の推進	自治協働課	◎	◎	◎
				15	人権の尊重と平和社会の実現	人権・男女共同参画課	◎	◎	◎
				16	女性が活躍する社会の実現	人権・男女共同参画課	×	○	◎
				17	大学連携の推進	企画調整課	◎	◎	◎
2	自然、歴史、多くの人が文藝化スポーツを重視し、多岐にわたるまちを創ります	5	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします	18	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進	観光振興課	◎	◎	◎
				19	多文化共生・国際交流の推進	観光振興課	◎	◎	◎
		6	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします	20	琵琶湖を始めとする自然環境の保全	環境政策課	△	○	△
				21	環境教育の推進	環境政策課	◎	◎	◎
		7	悠久の歴史と文化を大切に、次代に継承します	22	歴史・文化遺産の保全・発信	文化財保護課	◎	◎	◎
				23	湖都にふさわしい景観づくり	都市計画課	◎	◎	◎
		8	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	24	スポーツの普及・振興	市民スポーツ課	○	○	◎
				25	文化・芸術に親しめる環境づくり	文化・青少年課	◎	△	×
3	安心、快適に住み続けることのできる活力あふれるまちを創ります	9	安心、安全に暮らすことのできるまちにします	26	災害に強いまちづくりの推進	危機・防災対策課	◎	△	△
				27	防犯力の向上と生活安全の推進	自治協働課	◎	◎	◎
				28	消防・救急体制の充実	消防総務課	◎	△	○
				29	ライフラインの確保	企業総務課	◎	◎	◎
		10	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします	30	都心エリアの再生と地域形成	都市計画課	○	○	◎
				31	公共交通ネットワークの再構築	地域交通政策課	◎	◎	◎
				32	住環境の整備	住宅課	◎	◎	◎
		11	経済が活性化し、元なまちにします	33	商工業の振興	商工労働政策課	◎	◎	○
				34	農林水産業の活性化	農林水産課	○	○	△
				35	就労支援と働き方の見直し	商工労働政策課	◎	△	△
		12	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにします	36	再生可能エネルギーの活用	環境政策課	◎	◎	◎
				37	循環型社会の推進と土砂等の埋立規制の強化	廃棄物減量推進課	◎	◎	◎
13	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます	38	行財政改革の強化と持続可能な都市経営	行政改革推進課	◎	◎	◎		
		39	公共施設マネジメントの推進	公共施設マネジメント推進課	◎	◎	◎		
		40	開かれた市政の推進	市政情報課	◎	◎	◎		

施策評価の結果は、P14の施策評価結果一覧表の令和元年度評価結果のとおりであり、全40施策の内訳は、「◎順調」が29施策、「○ほぼ順調」が5施策、「△やや不調」が5施策、「×不調」が1施策という結果になった。

評価が「△やや不調」であった施策は、「施策8 安定した社会保障制度の運営」「施策20 琵琶湖を始めとする自然環境の保全」「施策26 災害に強いまちづくりの推進」「施策34 農林水産業の活性化」「施策35 就労支援と働き方の見直し」の5施策であった。

また、評価が「×不調」であった施策は、「施策25 文化・芸術に親しめる環境づくり」の1施策であった。

各施策評価シートはP16からP55に掲載している。

② 施策評価シート

施策1 令和2年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部	所管課	子ども家庭課
施策名	01	子育て環境の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課題	少子化や核家族化の進行、保護者の働き方の多様化、女性の更なる活躍推進などにより、保育サービスなどの子育て支援に対するニーズが多様化する一方で、地域でのつながりの希薄化等を背景に、誰にも相談できず子育てに不安を抱く親も少なくない。
目標とする姿	“待機児童ゼロ”を始め、保育・幼児教育及び児童クラブの「量」の確保と「質」の向上により、若い世代が喜びを持って安心して子育てをし、子どもが健やかに成長することができる「子育てするなら大津」と言われる環境が整っている。
視点	1 保育・幼児教育、児童クラブの「量」の確保と「質」の向上 2 市立幼稚園3年保育の実施等、幼児教育の充実と規模の適正化 3 子ども・子育て支援事業の総合的・計画的な推進

<3. 成果指標>

指標		実績値						
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	待機児童数	人	0	0	0	58	0	-
2	3年保育の実施率	%	0.00	100.00	28.00	52.00	79.00	-
3	地域子育て支援拠点利用者数	人/年	148,632	157,000	144,025	140,985	117,548	-

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.15	5
重要度	4.12	4

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・3年保育になり働き始めようと思えるようになった ・保育士の待遇向上と質の向上が必要 ・待機児童ゼロは素晴らしい ・児童クラブの充実を願う ・保育士が不足していると思う
--

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
17	2	4	0	23	6,379,924	22	11,077,991	17,457,915

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	○	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>成果指標のうち、待機児童数については、目標値である0人を達成し、また、幼稚園の3年保育の実施率についても当初の計画どおりに実施園を増やすことが出来ており、順調である。</p> <p>一方、地域子育て支援拠点利用者数については、幼稚園の3年保育の実施及び民間保育園の新規開設等の影響を受けて減少し、目標値を下回った（達成率74.8%）ため、施策全体の評価は「ほぼ順調」としている。</p> <p>これまでの取組において、保育所の定員確保は一定進んだことから、今後は保育の「質」の向上に軸足を移していくとともに、放課後児童クラブの充実を図り、すべての子どもたちが心身ともに健康に成長できるよう、子ども・子育て支援の充実を目指していく。</p>
-------	--

施策2

令和2年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所	所管課	健康推進課
施策名	02	出産から育児への切れ目のない支援	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課題	出産に関わる年代の人口減少に加え、女性の社会進出やライフスタイル及び価値観の多様化、若い世代の雇用への不安、子育てに対する心理的・経済的な負担感などさまざまな要因により、少子化が進んでいる。
目標とする姿	子どもを産み育てることへの不安を軽減するための支援体制が充実し、生き生きと育児・家事に取り組み、若い男女が希望を持って子どもを安心して産み育てられる環境が整っている。
視点	1 出産前からの切れ目のない支援(妊娠・出産・子育て) 2 男性の育児・家事への参画

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	乳児家庭全戸訪問事業実施率	%	94.90	100.00	97.06	96.50	97.20	-
2	妊婦健康審査受診券利用率	%	84.30	100.00	84.50	85.90	86.00	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.19	3
重要度	4.07	8

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・子供の医療助成をさらに進めて欲しい(中学・高校まで無償化等)
- ・産後サポートの充実
- ・妊婦健診の負担を軽減してほしい(産前ケア充実)
- ・市民病院の産科の回復

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	4	0	0	13	1,887,264	3	5,553,349	7,440,613

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標1 乳児家庭全戸訪問事業実施率は、目標値に対する実績値は97.2%であり、経年でも高い水準を維持しており、順調であると評価する。</p> <p>また、指標2 妊婦健康審査受診券利用率も86.0%であり、目標達成に向け順調であると評価している。</p> <p>このことから、当該施策については、概ね計画どおりに進捗していると評価しており、今後についても、これまで同様に主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進していく。</p>
-------	---

施策3

令和2年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	人権・男女共同参画課
施策名	03	いじめ対策の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課題	本市において、平成23年にいじめを受けた中学生が自ら命を絶つという事件が起こった。このような悲しい事件を二度と繰り返さないため、いじめの防止・解決に向けた総合的ないじめ対策の推進が重要である。
目標とする姿	家庭や学校だけでなく、地域も含めていじめ等から一人一人の子どもを見守る環境のもとで、子どもたちが安全で安心して生活し、教育を受けている。
視点	1 いじめ対策の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	いじめが収束した割合	%	99.70	100.00	98.40	99.10	93.80	-
2	前学年の時にいじめを受けなかった子どもの割合	%	66.10	71.10	69.90	68.70	71.30	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.04	17
重要度	4.17	2

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・テレビ、新聞などの情報から推進されていると感じている
- ・具体的な進捗が見えない
- ・LINE相談が良い
- ・行政だけでは解決が難しい、他機関との連携が重要
- ・現場の先生だけでは対応が難しい(業務量の多さ)

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	2	0	0	3	346,014	1	10,172	356,186

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>施策配下の事務事業は、児童生徒支援課といじめ対策推進室との事業があり、それぞれの施策に対する令和元年度の目標値と実績値は、①いじめが収束した割合は、目標値100%に対して実績値93.80%であり、達成率は93.8%で、②前学年の時にいじめを受けなかった子どもの割合は目標値70.3%に対して実績値71.3%であり、達成率は101.4%で、順調に取組を推進していると評価している。</p> <p>また、事務事業の主な取組のうち、いじめ対策推進室のいじめ対策推進事業は、より子どもの心に寄り添った、効果的な対策をこれまで以上に進められるように、事業の見直しが必要である。児童生徒支援課のいじめ対策担当教員・生徒指導協同推進教員配置事業は、「いじめ対策担当教員・生徒指導協同推進教員」の配置のあり方も含め、多様化する子どもたちの抱える課題に対し、事業をより効果的に進めるための改善が必要である。</p> <p>今後も、市長部局と教育委員会の協力・連携のもと、不登校対策など多様化する子どもたちの抱える課題の解決と合わせ、総合的な子ども支援に取り組んでいく。</p>
-------	--

施策4

令和2年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部	所管課	子ども家庭相談室
施策名	04	子どもを守る仕組みの充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課題	核家族化や地域のつながりの希薄化により、地域社会及び家庭の教育力並びにコミュニケーション能力が低下し、子育て世代が孤立するケースが増え、児童虐待、子どもの貧困等の問題がある。
目標とする姿	心身の健全な成長を育み、全ての子どもが大切にされながら育つ。
視点	1 子どもの人権の尊重 2 子どもの貧困対策 3 一貫した子どもの発達支援

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	子育て支援プログラム・児童虐待防止研修の参加者数	人	1,088	1,200	1,234	1,182	960	-
2	子どもの居場所づくり箇所数(寺子屋プロジェクト)	箇所	18	36	23	19	24	-
3	発達支援療育事業利用者(登録者)数	人	102	120	116	115	107	-

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.01	23
重要度	4.09	6

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・学校、家庭、児童相談所との連携が重要
- ・児童虐待の対策に力を入れてほしい
- ・学童保育の充実
- ・不登校、再登校児への支援

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
10	4	0	0	14	952,701	0	0	952,701

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	○	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>子育て支援プログラム・児童虐待防止研修関係では、小中学校での研修開催回数が減少したことにより、令和元年度の目標値に対する実績値は960人で80%の達成率となっている。</p> <p>子どもの居場所づくり関係では、長期休暇中等の学習支援居場所づくり(寺小屋プロジェクト)として、学区社会福祉協議会をはじめとする地域の協力を得ながら実施している。令和元年度は前年度より実施箇所が5箇所の増となっている。</p> <p>発達支援療育事業では、発達障害児やその可能性のある子どもに対しより丁寧な支援を必要としている子どもと捉え、保護者や子どもと積極的なかわりに努めている。親子で主体的に療育に参加してもらうことができ、令和元年度の目標値110人に対する実績値は107人で97.3%となり、指標の目標値達成に向け順調であると評価しており、今後も、子どもの育ちに応じた支援の充実を図るとともに、切れ目のない支援ができるよう連携していく。</p> <p>また、施策配下の他の事務事業についても概ね計画通りに推進しており、今後も引き続き主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進し、心身の健全な成長を育みながら全ての子どもが大切にされ育つように施策を進めていく。</p>
-------	---

施策5

令和2年度 施策評価シート

所管部	教育委員会	所管課	学校教育課
施策名	05	子どもの教育の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	01	子どもの未来が輝くまちにします

<2. 施策概要>

課題	人のつながりの希薄化や核家族化を始めとする地域社会及び家族の変容、社会経済のグローバル化の進展、情報通信技術の発達などに伴い、子どもたちの学びを取り巻く環境も変化しており、教育に求められる役割はますます多様化及び高度化している。
目標とする姿	学校、家庭及び地域がそれぞれの役割を果たし、互いに密に連携し、社会全体で子どもの成長を促す環境が整っている。その下で、子ども一人一人の発達過程を踏まえた教育が行われ、学びの意欲が高まり、社会的自立に向けた基礎的及び基本的な資質や能力が育まれている。
視点	1 次代を生き抜く力の育成 ～将来の夢を広げる学力の向上～ 2 社会のグローバル化に対応する人材の育成 ～英語教育の充実～ 3 学校・教育委員会の改革・充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	子どもによる学校評価アンケートの総合的な平均値	ポイント	2.33	2.55	2.31	2.33	2.35	-
2	保護者による学校評価アンケートの総合的な平均値	ポイント	2.25	2.55	2.22	2.20	2.22	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.05	15
重要度	3.83	16

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・英語教育、使える英語をより強化してほしい(若年層に多い意見)
- ・日本語教育を充実したほうがよい(高年層に多い意見)
- ・ICTのリスクも教えるべき
- ・教員への負担が大きい
- ・教育に関して、もっと現場の声を聞くべき

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
16	9	1	0	26	1,358,060	30	1,963,188	3,321,248

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・施策配下の各事務事業は概ね計画通りに推進されている。 ・指標「子どもによる学校評価アンケートの総合的な平均値」は2.35で92%の達成率である。 ・指標「保護者による学校評価アンケートの総合的な平均値」は2.22で87%の達成率である。 以上のことから評価としては順調である。
-------	---

施策6

令和2年度 施策評価シート

所管部	健康保険部	所管課	長寿政策課
施策名	01	高齢者の福祉・介護の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	02	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします

<2. 施策概要>

課題	今後、高齢者の中でも特に75歳以上の人口増加が顕著になり、単身高齢世帯数、高齢者のみの世帯数及び認知症高齢者数の増加が深刻化し、高齢者福祉の重要性は更に高まっている。
目標とする姿	高齢になっても住み慣れた地域で、健康で生きがいを持って自立した日常生活を営んでいる。また、地域の中で支え合い、医療や介護の支援が包括的に確保される体制が整って、在宅医療と介護の連携が充実している。
視点	1 高齢者が元気で活躍する暮らしの推進 2 地域包括ケアシステムの構築 3 在宅医療の充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 在宅療養を実現できると考える市民の割合	%	18.30	30.00	20.30	11.20	12.70	-	
2 認知症サポーター養成講座受講者数	人	15,549	24,500	19,445	21,238	22,764	-	
3 介護予防に取り組む市民の数(健康いきいき講座受講者数)	人	1,377	1,600	1,688	1,398	1,464	-	

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.00	25
重要度	4.06	10

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・高齢者に対する支援を手厚くしてほしい(介護施設数の増加、施設サービスの拡充等)
- ・在宅介護の充実を望む
- ・ワンストップサービスになっていない
- ・施設入所費用が高い
- ・介護スタッフの人材不足
- ・介護予防の推進が必要

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
20	4	6	0	30	1,138,073	46	27,402,212	28,540,285

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	○	○	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標1「在宅療養を実現できると考える市民の割合」の年度毎の目標値に対して47%の達成状況であったため不調である。</p> <p>指標2「認知症サポーター養成講座受講者数」の年度毎の目標値に対して100%の達成状況であったため順調である。</p> <p>指標3「介護予防に取り組む市民の数」の令和元年度の実績は1,464人であり、目標に対して92%の達成状況であったため順調である。</p> <p>いずれの指標からも、取り組みはほぼ順調としている。また、その要因としては指標1が計画どおりではなかったことにある。</p> <p>施策配下の事務事業のうち、「老人クラブ活動助成事業」「高齢者健康生きがい施設管理事業」「老人デイサービス運営事業」「高齢家族介護者支援はり・きゅうマッサージ施術費助成事業」は事業規模や見直しが必要であると評価する。それ以外の事務事業については、概ね、計画どおりに推進されており、今後も、これまで同様に主な取り組み事業をはじめ、施策配下の事務事業を推進していく。</p>
-------	--

施策7

令和2年度 施策評価シート

所管部	福祉子ども部	所管課	障害福祉課
施策名	02	障害者福祉の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	02	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします

<2. 施策概要>

課題	障害のある人の高齢化・重度化とともに介護者の高齢化が進む中において、障害者を介護する環境が厳しくなっている。一方で、障害のある人が必要とする支援や社会参加へのニーズは多様化しており、市民一人一人の障害に対する理解と適切な配慮が求められている。
目標とする姿	障害の有無にかかわらずに健常者と同様の生活と活動（ノーマライゼーション）を行い、社会から孤立や排除をされずに、それぞれの存在と役割を有する（ソーシャル・インクルージョン）中で、誰もが身近な地域で心豊かに暮らしている。
視点	1 障害者の就労支援の推進 2 障害福祉サービスの充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	働き・暮らし応援センターを通じて、一般就労に移行した障害者数	人/年	81	90	82	96	88	-
2	障害福祉に関する延べ相談件数	件/年	31,240	37,488	35,448	40,743	39,457	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.98	29
重要度	3.86	15

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の就労支援を願う ・障害者の居住・交流の場の提供 ・駅など街のバリアフリー化を望む ・障害者への理解を深めて欲しい
--

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
16	3	0	0	19	9,134,116	13	1,219,927	10,354,043

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>本指標「働き・暮らし応援センターを通じて、一般就労に移行した障害者数」については、本年度の実績は88人であり、令和元年度の目標に対して98%の達成状況であったことから、評価としてはほぼ順調である。</p> <p>また、本指標「障害福祉に関する延べ相談件数」については、本年度の実績は39,457人であり、令和元年度の目標に対して109%の達成状況であったことから、評価としては順調である。これらを総合的に判断して、進捗評価は順調としている。</p> <p>施策配下の事務事業のうち、主な取組事業は概ね計画どおり事業を進めることが適当であると評価するが、指標における目標達成率がやや低い事業もある。それ以外の施策を構成する事務事業についても、概ね、計画どおりに進んでいる。今後も、これまでと同様に主な取組事業をはじめ、施策配下の事務事業を着実に推進し、障害福祉施策の推進に取り組んでいく。</p>
-------	--

施策8

令和2年度 施策評価シート

所管部	健康保険部	所管課	保険年金課
施策名	03	安定した社会保障制度の運営	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	02	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします

<2. 施策概要>

課題	少子高齢化や雇用状況の変化など、社会経済情勢が厳しくなる中、医療、介護、福祉等の社会保障制度が担う役割は、ますます大きくなる一方、財政負担の増大から、将来にわたっての持続可能な制度の運営が課題となっている。
目標とする姿	健全財政の下、安定的な社会保障制度が運営され、必要とする人が安心して支援を受けることのできる制度が構築されている。
視点	1 生活の安心を支える支援 2 自立支援の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	特定健康診査受診率	%	37.00	44.00	38.10	36.90	37.70	-
2	自立支援プログラム達成者数	人/年	326	350	407	185	204	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.95	32
重要度	3.87	14

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・高齢者の医療保障は助かっている
- ・現状をよく知らない、わからない
- ・生活保護、貧困層の支援を拡充してほしい
- ・本当に必要とされている方への支援を
- ・ひとり親家庭へのサポートは必要
- ・相談体制の充実を願う
- ・サービス等の情報取得がしにくい

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
20	6	1	0	27	5,166,173	59	46,206,404	51,372,577

<6. 評価>

◆主管課評価 【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
○	○	△	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>成果指標の項目1「特定健康診査受診率」については、実績値が目標値を下回る結果となったが、昨年度に比べて0.7%上昇した実績となっている。以上のことから、令和元年度の取組は、ほぼ順調であると評価している。【担当課：健康推進課】</p> <p>また、項目2「自立支援プログラム達成者数」が、年度ごとの目標値に対して68.0%の達成状況であったのは、主に年金受給可能（年齢あるいは資格）対象者が少なかったためであり、福祉事務所の努力による成果によるものではない。【担当課：生活福祉課】</p> <p>今後も、安定した社会保障制度の運営を継続するため、各事務事業の推進に努める。</p>
-------	--

施策9

令和2年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所	所管課	保健総務課
施策名	01	健康増進と地域医療の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課題	健康寿命を伸ばし、生涯にわたって生き生きと暮らすためには、市民一人一人の心身の健康状態が良好であることが不可欠である。また、市民のニーズの多様化、子どもの健やかな成長、高齢化の進行等に対応できる地域医療の充実が求められている。
目標とする姿	市民一人一人が自らの健康を大切に、ライフステージに応じた健康づくりに取り組んでいる。また一方で、必要なときには身近で良質な医療を受けられる医療連携体制が整っている。
視点	1 健康づくり活動の促進 2 地域医療の充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 健康寿命(平均寿命と健康寿命との差):男性	年	1.78	1.78	2.04	1.83	1.81	-	
2 健康寿命(平均寿命と健康寿命との差):女性	年	3.86	3.86	4.04	4.24	3.90	-	
3 在宅医療の利用者数	人	1,793	2,500	1,997	2,243	2,157	-	

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.07	7
重要度	3.89	12

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・健康診断を受けやすくしてほしい(料金)
- ・がん検診を充実させてほしい
- ・心の悩み相談員の充実
- ・予防対策の充実
- ・市民病院を始めとする地域医療を守ってほしい

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
14	7	1	0	22	662,566	9	6,926,164	7,588,730

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「平均寿命と健康寿命との差」について、実績値は男性1.81、女性3.9で、達成率はそれぞれ98.3%と99.0%であった。</p> <p>指標「在宅医療の利用者数」については、実績値が2,157人(「大津市内医療機関における在宅医療状況調査」(令和元年10月実施)回答率71.1%)で、86.3%の達成率であった。このことから、今年度までの取り組みはおおむね順調であると評価している。</p> <p>施策配下の事務事業について、その多くが計画どおり事業を進めることが適当であると評価している。一部事業の進め方に改善が必要と評価する事業もあるが、概ね計画どおりに取り組みが進んでおり、今後もこれまでどおり事務事業を推進していく。</p>
-------	--

施策10

令和2年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所	所管課	衛生課
施策名	02	保健衛生の確保	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課題	さまざまな感染症の発生や食中毒などの健康被害への不安を払拭し、安全で衛生的な生活ができる環境が求められている。
目標とする姿	感染症や食中毒など健康危機管理の適切な対応や、食品及び医薬品の安全が確保され、営業施設の自主衛生管理が向上し、市民が安全で安心して衛生的に生活できる環境が整っている。
視点	1 健康危機管理対策の推進 2 感染症などの健康被害の発生防止 3 食品の安全性の確保

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 食中毒発生件数	件/年	2.80	0.00	4.00	2.00	1.00	-	
2 前年度指導実施施設等の感染症集団発生率	%	38.10	0.00	12.00	37.50	20.00	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.14	6
重要度	3.67	20

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全を推進してほしい ・衛生習慣の更なる周知を願う ・農業の推進とあわせた食品の安全確保に期待する ・民間とコラボした啓発イベント等があってもよい

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
11	2	0	0	13	954,808	10	153,090	1,107,898

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
○	○	○	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>食中毒事件の発生については、評価方法として、食中毒事件3件以内で順調、5件以内でほぼ順調、5件以上でやや不調、2年以上連続で5件以上発生した場合、不調とする。令和元年度に発生した食中毒事件は1件であるので評価として順調とした。今後も、食中毒の発生しやすい飲食店営業を中心とした監視に重点を置くとともに、発生件数の多いノロウイルス・カンピロバクター食中毒発生予防の啓発、指導を強化する。また、食品衛生法改正に伴い、HACCPに沿った衛生管理の普及推進を図る。</p> <p>前年度指導実施施設等の感染症集団発生率については、評価方法は0で順調、19%未満でほぼ順調、19%以上38%未満でやや不調、38%以上で不調とする。令和元年度の実績は20.0%であり、評価はやや不調としたが、平成30年度(37.5%)と比較するとやや改善した。</p> <p>保育園への調査支援体制については、幼児政策課・衛生課・保健予防課による初期対応が確立している。また、これまでの発生事例から重点項目を定めた調査を実施しており、重点項目設定後の効果検証を今後行うなどし、更なる調査支援体制の強化を図る。</p>
-------	---

施策11

令和2年度 施策評価シート

所管部	健康保険部保健所	所管課	衛生課
施策名	03	学校給食を始めとする食育の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課題	栄養バランスの偏り、朝食欠食などの不規則な食事、エネルギーや食塩の過剰摂取、野菜不足などの食生活に起因した生活習慣病の増加など、「食」を取り巻く問題が深刻化している。
目標とする姿	市民一人一人が食育を通じて、「食」の大切さへの関心と理解を深め、健全な食生活を実践し、生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送っている。また、子どもたちは、学校給食などによって健全な食習慣を身に付け、食文化を大切に健やかに成長している。
視点	1 学校給食の推進 2 生涯にわたる食育の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	朝食を摂食する人の割合	%	84.00	95.00	89.00	87.00	91.00	-
2	学校給食における地場産物を使用する割合	%	24.00	25.00	20.60	18.30	21.20	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.22	2
重要度	3.73	17

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・中学校も給食になるので、ありがたい、助かる
- ・栄養バランスとメニューが充実していると感じる
- ・公立幼稚園でも給食を食べられるようにしてほしい
- ・地元の食材を使った給食はよい
- ・アレルギー対策が心配
- ・種まきから収穫まで一貫した「食育」は重要
- ・食品ロス問題から弁当のままでよかった

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
3	1	0	0	4	6,978,978	6	4,836,164	11,815,142

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	○	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標1「朝食を摂食する人の割合」については、目標値は95%で、本年度の実績は91%であり、目標値に対して96%の達成状況であったことから、評価としては順調である。</p> <p>指標2「学校給食における地場産物を使用する割合」については、目標値は25%で、本年度の実績は21.2%であり、目標値に対して84.8%であったことから、評価としてはほぼ順調である。</p> <p>以上の結果より施策全体の評価は、順調としている。</p> <p>今後も、これまで同様に施策目標の達成に向け取り組んでいく。</p>
-------	---

施策12

令和2年度 施策評価シート

所管部	教育委員会	所管課	生涯学習課
施策名	04	生涯学習の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課題	元気な高齢者が増加し、ライフスタイルが多様化する中、市民の生涯学習に対する意欲は高まっており、そのニーズも広範囲かつ多岐にわたっている。また、自己実現のみならず、学習の成果を適切に活かすことが求められている。
目標とする姿	市民が主体的にあらゆる機会を通して学び、その学んだ成果を地域づくりに活かし地域の担い手となる人材が育成されるなど、それぞれの地域で生涯学習が活発に行われている。
視点	1 生涯にわたって学べる環境づくり 2 地域人材の育成

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	熱心まちづくり出前講座参加者数	人/年	2,722	3,000	2,303	3,293	3,127	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.06	11
重要度	3.52	30

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・図書館が近くに欲しい
- ・図書館機能の充実を願う
- ・生涯学習での学びが活用できるよう検討してほしい
- ・出前講座の普及啓発のやり方を考えてほしい

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
8	4	1	0	13	436,226	6	98,743	534,969

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

○	◎	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「熱心まちづくり出前講座参加人数」の令和元年度の実績は3,127人であり、目標値に対して106.7%の達成率であったため、指標の目標値達成に向け順調であると評価している。</p> <p>また、配下の事務事業は、計画どおり事業を進めることが適当が8事業、事業の進め方に改善が必要が4事業、事業規模や見直しが必要が1事業となっている。全体的には、ほぼ順調に進捗しているが、科学館の2事業がいずれも評価が下がっている。</p> <p>今後においては引き続き人生100年社会を見据え、すべての人が生涯を通じて生き生きと活躍できるよう、市民が主体的に学びながら、学ぼう同士がつながり、学習成果を地域づくりに生かす生涯学習社会の実現に向けた取り組みを推進する。</p>
-------	---

施策13

令和2年度 施策評価シート

所管部	市民部	所管課	文化・青少年課
施策名	05	青少年の健全育成	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	03	生き生きと健康に過ごせるまちにします

<2. 施策概要>

課題	青少年を取り巻く環境は変化し、社会的自立の遅れや、ひきこもり、有害情報の氾濫などにより、青少年が人間関係や将来に不安を感じている。
目標とする姿	次代を担う子ども・若者が、自己を確立していく過程で社会との関わりを自覚しながら健やかに成長し、自らの夢の実現に向かって持てる能力を活かして自立し、活躍している。
視点	1 子ども・若者の健やかな育成

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 青少年育成学区民会議活動への参加者数	人/年	58,751	61,000	75,861	71,343	75,551	-	
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.05	14
重要度	3.49	32

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・お祭りなど地域のイベントが増え、参加しやすくなった ・青少年の社会的知恵が不足していると感じる ・スマートフォン普及により、セーブするルールづくりが必要 ・青少年育成体制が市民に伝わってこない ・近所で子どもを見守る姿勢が見えない ・家庭環境に問題を抱える子が増えている

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	0	0	0	6	88,667	2	3,401	92,068

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>本指標「青少年育成学区民会議活動への参加者数」については、令和元年度の目標値に対する実績値は75,551人であり100%達成し、指標の目標値達成に向け順調であると評価している。</p> <p>施策配下の事務事業は部局横断的に展開しており、各事業の成果指標及び総合評価を踏まえ、最上位計画である総合計画に掲げる基本方針及び施策に貢献していると評価している。</p> <p>施策配下の事務事業は、概ね、計画どおりに推進されている。今後も、関連部局と連携し、各事業の効果的な実施と、さらなる充実を目指していく。</p>
-------	---

施策14

令和2年度 施策評価シート

所管部	市民部	所管課	自治協働課
施策名	01	市民活動と協働の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課題	人々の価値観や生活様式の多様化により地域のつながりが希薄化する一方で、超高齢社会における見守り及び支え合い、災害時における助け合いなど、人のつながりによるあたたかい地域社会が求められている。
目標とする姿	まちへの愛着や誇りを感じて、市民一人一人が社会活動や生活の中で培ってきた豊かな知識や経験等を発揮し、主体的に地域活動を展開している。また、事業者による社会貢献活動が活発化し、多様な担い手による主体的なまちづくりが行われ、市民・市民団体、事業者及び行政の三者協働により、地域課題の解決を図っている。
視点	1 市民活動の推進によるコミュニティの充実 2 協働のまちづくり

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 行政と市民・市民団体及び事業者との協働事業実施件数	件/年	105	130	114	126	118	-	
2 (仮称)まちづくり協議会の設立数	団体	0	5	0	0	4	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.00	26
重要度	3.40	37

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・高齢化で自治会活動の継続は困難である
- ・自治会運営・リーダーの担い手が少ない
- ・地域により活動に差がある
- ・無理に協働しなくてもよいのではないか
- ・住民自治への意識付けの推進

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
4	3	0	0	7	193,670	3	895,919	1,089,589

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価 【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

◎	◎	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>本指標のうち、「行政と市民・市民団体及び事業者との協働事業実施件数」については令和元年度の目標値125件に対し118件と目標値を下回る結果となった。</p> <p>「まちづくり協議会の設立数」については、令和元年度の目標値3学区に対して実績値は4学区と目標値を上回るとともに、他学区においても設立準備に向けた意識醸成・合意形成が進められており、順調に進捗していると評価している。</p> <p>施策配下の事務事業のうち、「市民活動センターの機能の充実」「協働のまちづくり推進事業」については、事業の進め方に改善が必要であると評価する。それ以外の施策を構成する事業については、計画どおり事業を進めることが適当であると評価する。</p> <p>施策全体としては、順調に進捗しており、今後も計画的に事務事業を推進していく。</p>
-------	---

施策15

令和2年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	人権・男女共同参画課
施策名	02	人権の尊重と平和社会の実現	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課題	個々の違いを互いに受け入れ、共に認め合い、助け合う社会の実現と世界の恒久平和は、人類共通の願いであるが、いまだ全ての人権侵害が解消されておらず、戦争や地域紛争が絶えない。また、インターネットによる人権侵害など新たな問題が増えている。
目標とする姿	啓発活動や学習などを通じて人権が尊重され、平和社会への意識が高まり、自由平等に豊かで幸せな生活を送っている。
視点	1 人権啓発の推進 2 平和意識の高揚

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 人権を考える大津市民のつどいの参加者数	人	25,050	25,450	6,743	5,774	5,454	-	
2 平和イベントへの参加者数	人/年	500	1,000	400	490	840	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.06	12
重要度	3.38	38

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・「人権」「平和」ともに周知・啓発が不足している
- ・市民全体が参加しやすい仕組みをつくってほしい
- ・子ども達へ教育の一環として取り組むべき

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
3	0	0	0	3	44,395	0	0	44,395

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>「人権を考える大津市民のつどいの参加者数」について、25,450人は令和2年度までの累計の目標となっており、令和元年度目標では、6,375人である。実績は5,454人で、85%達成し、ほぼ順調である。昨年度より減少している要因としては、夏場の熱中症対策に資するため、これまで複数日に分けて実施していたものを空調設備等が充実した会場に集約し、実施日数を減らしたこと、また連休中に開催したことと他の地域事業と重なったことが原因であると思われる。当該事業は、一般市民に向けた啓発事業であり、継続して実施していく意義がある。</p> <p>「平和イベントへの参加者数」については、令和元年度の目標値800人に対する実績値は840人であり、105%達成し、指標の目標値達成に向け順調である。</p> <p>平和啓発については継続的に事業を行うことに意義があるため、今後も引き続き事業の継続に努める。</p>
-------	---

施策16

令和2年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	人権・男女共同参画課
施策名	03	女性が活躍する社会の実現	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課題	地域社会や職場には、依然として性別による固定的な役割分担意識や慣習が残っており、女性の社会進出が妨げられている。そのため、女性活躍の推進や男女共同参画についての意識を高め、男女がお互いを尊重し、それぞれの個性や能力を發揮できる環境を整える必要がある。
目標とする姿	社会のあらゆる分野において、男女がお互いを尊重する男女共同参画社会の中、女性が、結婚や出産及び子育て等を両立しながら働き続け、キャリアアップするなど、個性や能力を發揮して生き生きと社会で活躍している。また、男性の育児、介護及び家事への参画等により、男女ともに仕事と子育てとを両立して、幸せに暮らしている。
視点	1 男女共同参画社会づくり 2 自由な選択の下での女性のエンパワメント

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定事業者数	件	0	15	2	7	11	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.02	22
重要度	3.61	22

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援や働き方など、女性の負担を軽減する環境整備が必要 ・男性側の意識を変えるようなことをしてほしい ・女性を特別扱いしすぎだと思う ・企業に対する女性が働きやすい制度の徹底

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	1	0	0	2	45,165	0	0	45,165

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
×	○	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	「女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定事業者数」については、令和2年度までの累積目標であり、令和元年度までの目標値は、12件で実績は11件、達成率は91.7%であり、概ね達成できた。この事業は、企業内での女性活躍の推進を目指しており、継続して、実施していく意義がある。
-------	--

施策17

令和2年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	企画調整課
施策名	04	大学連携の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	01	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります
	基本政策	04	つながりを大切にし、ともに支えあうまちにします

<2. 施策概要>

課題	多くの大学が立地する本市において、大学の豊かな知的資源及び人的資源を活かし、幅広い分野で連携を進めるとともに、大学生の地域への関わりを促進する必要がある。
目標とする姿	大学の豊かな知的資源及び人的資源が幅広い分野で活かされるとともに、大学生が地域の中で活躍し、本市への愛着を深め、市内での就労にも意欲を示している。
視点	1 大学との連携によるまちづくりの推進 2 「農」、「食」など新設学部との連携

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	大学連携相互協力事業数	事業/年	233	245	266	304	306	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.03	18
重要度	3.31	39

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・若者のアイデアをもっと活用すべき
- ・卒業後は地元で就職・定住してほしい
- ・学生と市民が連携した企画を検討してほしい
- ・連携した取り組みのPRが不足している

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	0	0	0	1	3,266	0	0	3,266

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	令和元年度の実績値は306件であり、目標に対して約125%の実績を達成し、指標の目標値達成に向け順調であると評価する。 施策配下の事務事業「大学連携関連事業」も計画通りに推進されており、今後も、大学の豊かな知的資源や人的資源を生かした様々な事業を推進していく。
-------	---

施策18

令和2年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	観光振興課
施策名	01	オンリーワンを活かした国内外からの誘客の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	本市は、昭和33年に「大津国際文化観光都市建設に関する決議」が市議会において議決されて以降、国際化に取り組んできた。近年、全国的に訪日外国人が増加し、その中でも本市は著しく高い伸び率を記録している。観光政策による交流人口の拡大は、さまざまな業種に経済波及効果を及ぼし、雇用創出にも好影響をもたらすとされており、このチャンスを活かして、増加傾向にある訪日外国人を更に呼び込むとともに、国内観光客に対して効果的な政策を展開する必要がある。
目標とする姿	オンリーワンである琵琶湖を始めとする豊かな自然、世界遺産や日本遺産を始めとする悠久の歴史・文化など、訪日外国人等が本市での観光を満喫するとともに、観光産業の振興によって地域経済も活性化されている。さらに、国内外の来訪者との交流を通じて市民が本市で暮らすことに誇りを感ず、まちへの愛着を深めている。
視 点	1 オンリーワンを活かす着地型観光の推進 2 インバウンド観光への情報発信 3 広域観光プロモーションの充実 4 スポーツ観光の推進

<3. 成果指標>

指標		実績値						
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	来訪者の満足度	%	68.70	75.00	71.20	68.83	76.23	-
2	宿泊者数	人/年	1,443,900	1,650,000	1,411,700	1,383,500	1,348,000	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.94	33
重要度	3.44	36

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・京都に近い立地を活かしてほしい ・PRが下手だと思う ・びわ湖、自然・歴史などの強みを活かしたプロモーションが必要 ・観光のためのインフラ整備が貧弱である ・観光消費につながる、点ではなく面的な取り組みが必要

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	5	1	0	12	447,736	3	61,359	509,095

<6. 評価>

◆主管課評価 【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>本指標「来訪者の満足度」「宿泊者数」については、年度ごとに段階的に目標値を定めている。令和元年度の「来訪者の満足度」の目標値は73.74%に対し、実績値が76.23%であった為、達成率は100%を超えた。</p> <p>「宿泊者数」の目標値159万人に対し、実績値が1,348,000人となり、達成率は85%となった。それぞれの成果指標について9割近い実績を維持出来たことから、進捗状況を順調としている。今後も計画どおり、施策及び主な取組を推進していく。</p>
-------	--

施策19

令和2年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	観光振興課
施策名	02	多文化共生・国際交流の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	01	インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします

<2. 施策概要>

課 題	本市では昭和44年のアメリカ合衆国・ランシング市を始めとする世界5都市との姉妹都市・友好都市提携及び平成22年にはオーストラリア連邦・モスマン市との市民友好交流の合意書を交わすなど、国際交流に努めてきている。このような中、市内に在住する外国籍市民も多国籍にわたるなど、本市においても地域の国際化が進展している。しかし、言語や生活習慣の違いなどから、在住外国人が日常生活におけるコミュニケーションや必要な情報の入手が難しい状況にある。
目標とする姿	国籍や民族の異なる人々が互いの文化的差異を認め合い、国際交流が自然に深められているとともに、外国籍市民も地域社会の一員として溶け込み、安心して暮らすことができる多文化共生が浸透した地域社会を形成している。
視 点	1 国際交流の推進 2 多文化共生社会への取組

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	国際文化理解講座の参加者数	人/年	2,004	2,100	3,629	3,729	3,828	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.00	27
重要度	3.18	40

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・国際交流の楽しさが実感できる企画を願う
- ・姉妹都市・友好都市を知らない
- ・国際交流は大切である

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
3	0	0	0	3	28,094	0	0	28,094

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	本指標「国際文化理解講座の参加者数」の実績値は、3,828人であり、目標値2,100人を大きく超えており、進捗状況は順調としている。 施策と主な取組事業の進捗は、いずれも順調であるため、計画どおり施策及び主な取組を推進していく。
-------	---

施策20

令和2年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	環境政策課
施策名	01	琵琶湖を始めとする自然環境の保全	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします

<2. 施策概要>

課題	「湖都」として、琵琶湖やそれにつながる河川を大切にし、水環境に優しいまちづくりを進めることが重要である。また、大気汚染や騒音問題などから市民の良好な生活環境を守る必要がある。さらに、「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」が施行され、琵琶湖を始めとした自然環境の保全に関する市民の関心が高まっている。身近な生活空間及び森林、田園などの里地里山の自然が近接して形成される潤いある豊かな生活空間の保全・再生が求められる。
目標とする姿	琵琶湖を始めとした自然環境が適切に保全される中、人と自然が共生しながら、市民の良好な生活環境が形成されている。
視点	1 水環境の保全・再生 2 里地里山等の保全・再生 3 環境監視及び規制

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 環境保全活動年間参加者数	人/年	94,720	95,000	89,635	87,823	82,900	-	
2 森林整備面積	ha/年	116.99	120.00	70.63	76.64	69.80	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.06	10
重要度	4.12	5

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・びわ湖の環境を守っていくことは大切 ・台風や動物、太陽光パネルなどにより里山が荒廃している ・蛍が見られなくなった ・ごみのポイ捨てをなくす啓発が必要

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
4	3	0	0	7	302,216	7	151,804	454,020

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
△	○	△	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「環境保全活動年間参加者数」については、目標値95,000人に対し、令和元年度の実績は82,900人で87.26%の達成率で「ほぼ順調」である。</p> <p>指標である「森林整備面積」については、目標値120haを毎年達成すべき目標としているが、令和元年度の実績値は69.8haで、目標値の58.1%の達成にとどまった。森林施業者の事業推進には補助金交付等の支援が不可欠であり、評価としては「不調」としている。</p> <p>これにより、2つの指標を総合的に判断した結果、「やや不調」である。</p> <p>今後の方向性としては、市民の環境保全活動については今後も活発に行われるよう引き続き支援を行う。</p> <p>また、森林整備については、森林資源の充実した保育期にある間伐を行うなどの森林整備面積の拡大は喫緊の課題であることは認識しており、林業振興並びに国土保全の観点からも一層の推進をしていきたいと考えている。</p>
-------	---

施策21

令和2年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	環境政策課
施策名	02	環境教育の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	02	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします

<2. 施策概要>

課題	自然と親しむ機会の減少により、環境に配慮した行動につながる意識の低下が懸念される。このことから、琵琶湖や比良・比叡の山々など身近な自然環境に関する情報の発信や、自然環境を活用した環境教育の機会の提供が必要である。
目標とする姿	幼少期から自然と触れ合い、常に環境に関する情報が入手できることにより、人と自然との関係について理解を深め、環境に配慮した行動をする人が育っている。
視点	1 「環境人」育成の推進 2 環境情報の収集・蓄積・発信

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	自然家族事業等累計参加者数	人	8,104	11,000	10,466	10,695	11,107	-
2								-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.00	24
重要度	3.54	29

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・大津市だけでなく、地球規模で重要だと感じている
- ・「環境人」という言葉がわからない
- ・買い物袋(エコバッグ)を持ち歩いている
- ・ペットボトルの紙化が必要

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	1	0	0	6	132,489	2	13,091	145,580

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>参加累計人数11,000人の目標に対し、令和元年度末の累計人数は11,107人であり、達成率は100.9%となり目標値を達成した。</p> <p>自然家族事業については、令和元年度には参加者が少ない事業を減らすなど内容を見直し、外部委託を行うことで効率化を図りながら進めてきたところであるが、今後についても、参加者のニーズ等を勘案するなど内容を精査しながら施策を推進していく。</p>
-------	---

施策22

令和2年度 施策評価シート

所管部	教育委員会	所管課	文化財保護課
施策名	01	歴史・文化遺産の保全・発信	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します

<2. 施策概要>

課 題	悠久の歴史を持ち、“近江大津宮”に端を発する「古都」としての本市は、世界遺産や日本遺産のほか、京都市・奈良市に次ぐ多くの国指定文化財を有しており、地域には数多くの歴史・文化遺産が存在している。しかし、その存在が市民に知られていないものもある。また、地域の伝統行事や祭りを伝承していく必要がある。
目標とする姿	歴史・文化遺産が保存・継承され、市民や来訪者が文化や伝統に触れることができる環境が形成されている。そして、貴重な歴史・文化遺産の中で暮らすことに誇りを感じ、まちへの愛着を深めている。
視 点	1 歴史・文化遺産の保全 2 歴史に関する情報発信

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 国・県・市指定文化財の指定及び登録件数	件	659	674	667	669	671	-	
2 歴史博物館来館者総人数(のべ人数、貸し館とも)	人/年	87,000	87,000	73,643	81,558	73,286	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.06	9
重要度	3.60	23

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・歴史的な文化財は多いが、情報発信が不足している
- ・県の管轄かもしれないが、琵琶湖文化館が放置されている
- ・観光や産業などと、コラボしたらよいと思う

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	0	0	0	9	304,860	2	64,185	369,045

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

◎	◎	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「国・県・市指定文化財の指定及び登録件数」の実績値は671件で、目標に対して100.9%の達成状況であった。指標「歴史博物館来館者総人数」の実績値は73,286人で、目標に対して84.2%の達成状況であった。以上のことから、施策全体としては順調であると評価している。</p> <p>本市には、京都市、奈良市に次いで全国第3位の豊かな国指定文化財が残されている。文化財の保存・活用事業は、まちづくりの核となる事業の一つであるため、厳しい財政状況の下で、市民の協力と理解を得ながら、計画的に事業を進めることができた。</p> <p>指定文化財等の保存修理や管理、伝統的建造物群保存地区の修理・修景事業については、所有者や地域住民等と協議を図りながら事業を進めた。また、市内史跡整備事業については、継続的に史跡を公有化した。博物館の事業では、「大津南部の仏像」展や「大津絵」展、「江戸時代の琵琶湖水運」展などを開催した。また、1月からは、特集展示「明智光秀と戦国時代の天津」を1年間の予定で開催した。</p> <p>施策配下の事務事業は概ね順調な進捗が図れており、今後も計画どおり事業を進めていく。</p>
-------	---

施策23

令和2年度 施策評価シート

所管部	都市計画部	所管課	都市計画課
施策名	02	湖都にふさわしい景観づくり	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	03	悠久の歴史と文化を大切に、次代に継承します

<2. 施策概要>

課 題	本市は、平成15年10月に古都保存法に基づく「古都」の指定を受けるなど、歴史上重要な文化遺産を有しており、また、美しく風格ある景観に恵まれている。こうした景観を市民共有の財産として守り、歴史や自然と調和した都市の景観形成に努めることにより、都市の魅力を向上させる必要がある。また、琵琶湖のほとりに位置する都市として、広域的景観の保全や連続性・統一性のある景観形成を進める必要がある。
目標とする姿	都市の機能と調和しつつ湖都にふさわしい、美しく風格ある景観が整ったまちが形成されている。
視 点	1 次代に引き継ぐ景観づくり

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	景観保全のための地区計画、景観協定の設定地区面積	ha	296.20	298.20	296.70	379.30	379.30	-
2								-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.02	21
重要度	3.71	18

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・琵琶湖の周りにマンションが乱立し景観が損なわれている
- ・都市化と歴史・環境が調和したまちづくりが肝要
- ・令和版「近江八景」を制定してはどうか

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	0	0	0	5	78,908	0	0	78,908

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>本指標「景観保全のための地区計画、景観協定の設定地区面積」については、年度毎の目標値に対して、令和元年度の実績値は379.3ha（北部地域新産業拠点地区地区計画82.6haが追加）で、100%以上の達成率である。</p> <p>坂本地区では、令和元年度から令和2年度までの間、引き続き、県道比叡山線沿道地区地区計画周辺における新たな地区計画の検討が行われており、取り組みは順調であると評価している。</p> <p>また、堅田地区では落雁の道地区景観協定が令和2年度で更新を迎える中、地域が主体となって協定更新と同時に景観協定の区域拡大を検討されており、これらを促進していく。</p>
-------	--

施策24

令和2年度 施策評価シート

所管部	市民部	所管課	市民スポーツ課
施策名	01	スポーツの普及・振興	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします

<2. 施策概要>

課題	平成32年には東京オリンピック・パラリンピック、平成36年には滋賀国体・全国障害者スポーツ大会が開催される。スポーツは、心身の発達や健康増進、豊かな人間性の育成や交流促進に欠かせないものであり、競技スポーツのみならず、市民の健康増進と心豊かな暮らしのために、生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりが必要である。
目標とする姿	子どもから高齢者まで、生涯を通じて市民がスポーツに親しみ、心身ともに健康で豊かに生き生きとスポーツを楽しんでいる。
視点	1 生涯スポーツの普及・振興 2 競技スポーツの推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 市民の週1回以上の運動・スポーツ実施率(平均値)	%	46.35	65.00	48.10	46.70	49.90	-	
2 学校以外での1日あたりの運動時間(小学校5年生対象)(平均値)	分	66.15	67.80	66.35	65.25	62.90	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.06	13
重要度	3.54	28

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・気軽にスポーツが出来る場所(体育館・公園)が少ないと感じる
- ・公園に健康遊具の設置など、シニア世代への支援を
- ・ヨガイベントの普及をしてほしい
- ・子どもがのびのびと遊べる公園がほしい

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	2	1	1	10	269,410	3	10,291	279,701

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

○	○	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「市民の週1回以上の運動・スポーツ実施率」の令和元年度の目標値は65%であり、本年度の実績は49.9%である。目標に対して76.8%の達成状況であり、昨年度よりも上昇しており、評価としてはほぼ順調である。</p> <p>指標「学校以外での1日あたりの運動時間(小学5年生対象)」の令和元年度の目標値は、平成27年度の全国平均の67.8分から△0.25分(男子△0.2、女子0.3)とした、67.55分であるが、本市の令和元年度の実績値は62.9分(男子78.0、女子47.8)であり、93.1%の達成状況であるため、評価としては順調である。以上のことから、施策全体としては順調であると評価している。</p> <p>施策配下の事務事業のうち、「国体・オリンピックチャレンジ事業」については、1教室あたりの参加人数が減少していること、一定の事業目的を達成したことから、今年度をもって終了とする。各指標については、やや不調であるものの、施策を構成するその他の事務事業については、概ね計画通りに推進されており、ほぼ順調であるといえる。</p>
-------	--

施策25

令和2年度 施策評価シート

所管部	市民部	所管課	文化・青少年課
施策名	02	文化・芸術に親しめる環境づくり	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創ります
	基本政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします

<2. 施策概要>

課題	心豊かで潤いのある市民生活や個性豊かで活力あふれる地域づくりを実践していくために、多様な文化活動を促進する必要がある。
目標とする姿	市民の多種多様な文化活動や、個性豊かな地域づくりの実践により、文化が薫る豊かなまちが形成されている。
視点	1 文化・芸術の感動・創造・交流

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	後援した文化・芸術事業への参加者数	人/年	161,439	172,000	159,207	126,767	82,293	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.04	16
重要度	3.45	35

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・子どもが参加しやすい文化・芸術イベントを
- ・若者の意見を取り入れた新たな取組みを
- ・伝統芸能会館をもっと活用すればよい
- ・美術館があったらよいと思う

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
7	1	1	0	9	176,215	1	39,843	216,058

<6. 評価>

◆主管課評価 【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	△	×	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>本指標の「後援した文化・芸術事業への参加者数」については、後援した事業実施後の各種団体からの報告を元に集計している。延べ約8万2千人が文化・芸術活動に参加しているが、猛暑などの天候不順、新型コロナウイルス感染症の影響や大型の後援事業が開催されなかったことから目標の48%程度に留まり、施策全体の評価としては不調となった。</p> <p>しかしながら、施策の進捗は順調であり、主な取組事業の進捗も順調である。新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」が叫ばれる中、今後の効果的な情報発信の方法について検討を進め、「第2次大津市文化振興計画」及び上位計画である総合計画に掲げる施策及び主な取組事業を推進していく。</p>
-------	---

施策26

令和2年度 施策評価シート

所管部	総務部	所管課	危機・防災対策課
施策名	01	災害に強いまちづくりの推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課題	近年、大規模地震や集中豪雨等による想定外の自然災害が多発している。被害が広範囲に及ぶ自然災害に対しては、家庭、地域、事業所及び行政がそれぞれの立場で防災・減災に取り組む必要がある。また、相互に連携して全市的に取り組む必要があることから、総合的な防災・減災対策が求められている。
目標とする姿	さまざまな自然災害に対する市民や関係機関の危機管理意識の向上と防災・減災への対策が図られて、災害時に迅速に対応できる基盤と仕組みが整っている。
視点	1 災害に対するまちの安全性の確保 2 地域防災力の向上 3 災害への情報基盤の整備

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 各学区における地区防災計画の策定数	学区	0	36	4	7	8	-	
2 市民を対象とした消防防災訓練参加者数	人/年	21,800	50,000	25,450	40,601	52,855	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.03	20
重要度	4.19	1

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・災害時、市・学校・福祉施設などとの連携が必要 ・市役所などの耐震や、倒木しそうな箇所など事前対策が必要 ・想定外に備えたインフラ整備は重要 ・防災士の育成 ・平時からの市民への広報・情報提供が大切

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
10	1	1	0	12	1,682,489	29	645,597	2,328,086

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	△	△	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>「各学区における地区防災計画策定数」については、令和2年度中に全36学区での策定を目標としている。令和元年度は、目標を11学区(累計24学区)としたが、1学区・累計8学区の策定であったため、目標は達成できなかった。</p> <p>「市民を対象とした消防防災訓練参加者数」については、令和2年度の最終目標を50,000人としている。令和元年度は、目標40,000人に対して、参加者数が52,855人と目標を達成した。</p> <p>阪神・淡路大震災を契機に自助・共助の重要性が認識され、平成23年に発生した東日本大震災により「公助の限界」や「地域コミュニティにおける共助の重要性」が改めて認識されたことから、本市では地域の特性を踏まえた共助の防災活動を内容とする「地区防災計画」が重要と考え、全学区において作成するよう今後も支援していく。</p>
-------	---

施策27

令和2年度 施策評価シート

所管部	市民部	所管課	自治協働課
施策名	02	防犯力の向上と生活安全の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課題	市内における一般刑法犯は、侵入盗、自転車盗、車上荒らしなどの「窃盗罪」の割合が高く、また、近年、架空請求詐欺、還付金詐欺、悪質商法等のように犯罪の手口が巧妙化している。さらに、インターネットを介した電子商取引における消費者トラブルも増加傾向にある。一方、交通事故においては、高齢者が関係する死亡事故割合が増加傾向にあり、歩行者や自転車による事故の増加も懸念される。
目標とする姿	市民一人一人の防犯意識や消費者としての権利意識が高まり、地域や警察などの関係機関との連携により、犯罪や消費者トラブルの起こりにくいまちが整備されている。また、交通安全に対して必要な施設設備が充実し、一人一人の安全意識が高まって、誰もが安心・安全に行き交うことのできるまちが形成されている。
視点	1 防犯活動の強化 2 交通安全のまちづくり 3 消費者トラブルへの対応

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	人口1万人あたりの刑法犯罪認知件数	件/年	75	65	59	54	50	-
2	市内の交通事故死傷者数	人/年	1,540	1,300	1,388	1,256	1,051	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.03	19
重要度	4.06	9

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・地域ボランティアとの連携は出来ていると感じる
- ・地域の見回りが盛んで助かっている
- ・通学路等で危険な場所があるため、ミラーを整備してほしい
- ・不審者情報メール配信はよいと思う
- ・高齢者を狙った特殊詐欺には地域ぐるみの対策が必要
- ・防犯カメラの多数設置が必要
- ・外灯が暗く危険なところが多い
- ・高齢ドライバーの安全運転対策

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	0	0	0	9	297,273	3	340,724	637,997

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

◎	◎	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「人口1万人あたりの刑法犯罪認知件数」については、目標値である65件を毎年度、達成すべき目標として定めている。本年度の実績値は50件であり、130%の達成状況であったことから、評価としては順調である。</p> <p>指標「市内の交通事故死傷者数」については、本年度の実績値は1,051人で、目標値の1,300人に対し、123.7%の達成状況であることから、評価としては順調である。</p> <p>また、政策配下の事務事業のうち、評価対象となっている事業については、すべての事業において、計画どおり事業をすすめることが適当との総合評価であることから、進捗状況を順調と評価している。今後も、これまで同様に施策及び主な取組事業を推進していく。</p>
-------	---

施策28

令和2年度 施策評価シート

所管部	消防局	所管課	消防総務課
施策名	03	消防・救急体制の充実	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課題	火災対応及び突発的なケガ・病気による救急・救助事故対応を始め、地震、豪雨などの自然災害から市民生活の安心・安全を確保する消防・救急体制が求められている。
目標とする姿	市民一人一人が安心して生活できる消防・救急体制が整っている。
視点	1 消防力の充実 2 救急救命体制の充実

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	人口1万人あたりの出火件数	件/年	3.15	2.72	1.40	2.31	2.33	-
2	心停止傷病者の救命率	%	17.00	25.00	19.50	13.30	16.30	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.22	1
重要度	4.07	7

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・AEDの設置及び講習など充実してきていると感じる
- ・市民病院の救急体制に不安がある
- ・インフラが整っていないので渋滞などで救急車がスムーズに通れない
- ・AEDの使用方法和設置場所の周知が必要

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
14	0	0	0	14	2,643,742	3	161,696	2,805,438

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	△	○	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「人口1万人あたりの出火件数」については、本年度の実績値は2.33件/年であり、目標値を下回る出火件数であったことから評価としては順調、指標「心停止傷病者の救命率」については、本年度の実績値は16.3%で目標値には至らずやや不調と評価する。両者の指標から判断して、今年度までの取り組みは、ほぼ順調であると評価する。</p> <p>施策を構成する事務事業は概ね順調であると評価し、今後もこれまで同様に主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進する。</p>
-------	---

施策29

令和2年度 施策評価シート

所管部	企業局	所管課	企業総務課
施策名	04	ライフラインの確保	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	01	安心、安全に暮らすことのできるまちにします

<2. 施策概要>

課題	上下水道やガスは、市民生活や経済活動の基盤となり、日常はもちろん、災害等の緊急時においても市民の生命を守る大切なライフラインであり、将来にわたって持続可能なサービスの提供が必要である。
目標とする姿	安心・安全で快適な上下水道と都市ガスの供給が確保されている。
視点	1 ライフラインの維持管理 2 災害時におけるライフラインの確保

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	ガス導管総延長(本支管)	km	1,270	1,329	1,286	1,299	1,307	-
2	浄水施設耐震化率	%	2.80	23.00	2.80	2.80	2.80	-
3	下水道施設(汚水管渠)の耐震化率	%	25.20	28.30	25.70	25.80	25.90	-

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.18	4
重要度	4.14	3

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・災害時のライフラインの対応をしっかり行ってほしい
- ・ライフライン(ガス・下水道等)の老朽化対策をしっかりしてほしい
- ・ガス事業民営化後を見守りたい
- ・水道民営化に反対する

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
0	0	0	0	0	0	3	30,518,459	30,518,459

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「ガス導管総延長(本支管)」は、令和元年度目標値1,308kmに対して、本年度の実績値は1,307kmであった。目標を若干下回ったものの、達成率が99.9%であることから、本年度までの取組は順調であると評価している。</p> <p>指標「浄水施設耐震化率」については、令和元年度目標値2.8%に対して、本年度の実績値は2.8%と目標を達成しており、本年度までの取組は順調であると評価している。</p> <p>指標「下水道施設(汚水管渠)の耐震化率」については、令和元年度目標値26.4%に対して本年度の実績値は25.9%であった。目標は下回ったものの、達成率は98.1%であり、本年度までの取組は順調であると評価している。</p> <p>2指標に遅れが生じているものの、第1期実行計画の最終年である令和2年度には達成できる見込みであり、取組は順調としている。施策配下の事務事業、全てにおいて施策への貢献度が高いため、今後も計画どおり事業を推進していく。</p>
-------	---

施策30

令和2年度 施策評価シート

所管部	都市計画部	所管課	都市計画課
施策名	01	都心エリアの再生と地域形成	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

<2. 施策概要>

課題	高度経済成長期以来の拡大志向の都市開発政策を見直し、持続可能な都市経営の理念の下、住み続けたいまち大津にふさわしい都心を再生する必要があります。計画的な土地利用を進め、美しい湖岸、懐かしい大津百町など古都の美しさを誇れる景観を再生するとともに、交通ネットワークの拠点である都心に人が集まり、駅間を回遊する人の流れを生み出すことが求められる。さらに、郊外部の地域もそれぞれの個性を活かしながら、利便性や快適性の高い地域形成が求められている。
目標とする姿	コンパクトな大津にふさわしい、琵琶湖岸の都市(湖都)及び古都大津として、その自然と歴史の魅力にあふれる都心が生まれる。大津駅、浜大津駅、膳所駅、大津京駅周辺の都心エリアには、市内外から人々が流入し、都心ビジネスも起業され、まちのにぎわいが創出されている。大津百町や旧街道沿いの町家等の歴史的建造物や琵琶湖への眺望が活かされ、古都大津の魅力的なたたずまいが、国内外からの観光客を集めている。また、郊外部の地域においても、豊かな自然環境や歴史・文化遺産、工場立地や商業集積などで築いてきた個性や魅力を踏まえて、活力ある地域づくりが進められ、コンパクトで機能的なまちが整備されている。
視点	1 都心エリアの再生 2 整った公共交通網を活かす拠点整備 3 個性や資源を活かした地域の活性化

<3. 成果指標>

項目	指標	単位	基準値	目標値	実績値			
					平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	都心地区における休日の歩行者・自転車通行量	人/日	11,379	13,000	10,254	8,908	12,045	-
2	中山間地域における持続可能なまちづくり組織の法人化件数	件	0	1	0	0	0	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.83	39
重要度	3.60	24

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい創出のため、総合的なビジョンが必要 ・草津方面の方が賑わっている ・商業施設が少なく、活性化してほしい ・都心エリアだけでなく、周辺地域のまちづくりも願う ・大津は特徴がない
--

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	0	0	0	6	390,849	14	1,188,403	1,579,252

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

○	○	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「都心地区における休日の歩行者・自転車通行量」については、令和2年度に目標値である13,000人/日を達成するために、年度毎の目標値12,400人/日に対して、令和元年度の実績は12,045人/日で、97.1%の達成状況であったことから、進捗評価は、順調とする。</p> <p>指標「中山間地域における持続可能なまちづくり組織の法人化件数」については、令和2年度に目標値である1件を達成するために組織の自立的かつ持続可能な活動の支援を実施・検討している。本年度の実績は0件であったが、1件のまちづくり組織が法人化を検討している状況であり、法人の形態について整理・検討していることから、評価としては、ほぼ順調とする。</p>
-------	--

施策31

令和2年度 施策評価シート

所管部	建設部	所管課	地域交通政策課
施策名	02	公共交通ネットワークの再構築	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

<2. 施策概要>

課題	人口減少・少子高齢化が進展し、地域公共交通をめぐる環境がますます厳しくなる中、公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下が懸念される。
目標とする姿	高齢者を始め全ての市民にとって利便性に配慮され自由に移動できるコンパクトな生活圏が形成されるとともに、広域交通の整備も充実した交通移動性の高いまちが形成されている。
視点	1 地域公共交通ネットワークの再構築 2 広域公共交通ネットワークの維持 3 安心して通行できるバリアフリー化の推進

<3. 成果指標>

指標		実績値						
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	交通輸送サービスのモデル事業実施数	件	0	3	2	2	3	-
2	バリアフリー化整備駅数	駅	14	16	16	16	16	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.83	40
重要度	3.92	11

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者免許返納に伴う、公共交通の充実 ・国道161号バイパスの早期整備 ・国道1号の渋滞解消 ・湖岸のマンションからJR駅へのアクセス向上

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
3	2	1	0	6	496,355	29	1,949,645	2,446,000
				平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				◎	◎	◎		

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「交通輸送サービスのモデル事業実施数」については、本年度の実績値は3件であり、目標に対して100%の達成状況であったことから、評価としては、順調である。</p> <p>指標「バリアフリー化整備駅数」については、本年度の実績値は16駅であり、目標に対して100%の達成状況であったことから、評価としては、順調である。</p> <p>いずれの指標からも、取組は順調としている。</p> <p>施策配下の事務事業のうち、主な取組事業の膳所駅周辺整備推進事業及び都市計画道路等の地域幹線道路の効率的・効率的整備については、事業規模や見直しが必要との評価としている。それ以外の事業の取組は、概ね計画通りに推進されており、今後もこれまでと同様に主な取組事業をはじめとする施策配下の事務事業を推進していく。</p>
-------	---

施策32

令和2年度 施策評価シート

所管部	都市計画部	所管課	住宅課
施策名	03	住環境の整備	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	02	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします

<2. 施策概要>

課題	人口減少社会の到来から、市営住宅の適正化、空き家等の問題が生じ、持続可能な住環境への対策が課題となっている。また、ペット文化の広がりにより、ある程度犬猫の飼育マナーは向上しているが、野良犬猫などにより地域の住環境における問題は依然として少なくない。
目標とする姿	市営住宅が適正に確保・管理されて、また、空き家の有効活用が図られる中で、市民が安心することができる住環境対応が推進されている。また、犬猫が適正に飼育され、人と動物が共存し合う環境が充実している。
視点	1 市営住宅の適正な維持管理のマネジメント 2 空き家対策と有効活用 3 動物愛護の推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 苦情や通報のあった老朽・有害空き家等の指導方針確定率	%	65.00	80.00	61.00	74.00	73.00	-	
2 地域猫活動支援事業延べ取組数	組	32	50	44	48	55	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.88	35
重要度	3.49	33

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・空き家の有効活用を望む
- ・危険空き家の防犯対策も重要
- ・市営住宅の入居条件を緩和してほしい
- ・動物愛護は飼い主のモラルが低いことも問題である

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
5	1	0	0	6	266,443	7	182,197	448,640

<6. 評価>

◆主管課評価 【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	指標「苦情や通報のあった老朽・有害空き家等の指導方針確定率」及び「地域猫活動支援事業延べ取組数」についても、目標値に対し、十分な成果をあげている。今後も、市営住宅をはじめ居住環境の改善に努め、良好な住環境の整備を一層推進していく。
-------	---

施策33

令和2年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	商工労働政策課
施策名	01	商工業の振興	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	03	経済が活性化し、元気なまちにします

<2. 施策概要>

課 題	本市の産業は、地域ごとに息づく事業所が、地域資源の活用を図ることにより成長しつつ、地域産業の多様性を生み出し、その特色を活かしながら、地域経済の発展に寄与してきた。また、地域コミュニティを支える存在としても機能してきた。しかし、事業者は、人材の確保や育成及び情報収集等の分野において多くの課題を抱えている。今後、地域の事業者の発展と成長を促し、地域経済の活性化を図るためには、地域の中小企業を始めとする事業者の成長及び時代に即した産業の育成や創造が求められている。
目標とする姿	産業の多様性という地域の特性及び観光客の増加等による地域の優位性を活かすことにより、経済の持続可能な発展が実現し、中小企業を始めとする地域経済を支える事業者が成長することにより、本市の商工業が活性化している。
視 点	1 新産業の創出、起業支援 2 地域産業の継承

<3. 成果指標>

項目	指標	単位	基準値	目標値	実績値			
					平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	付加価値額	億円	1,212	1,259	1,156	1,635	1,628	-
2	市内事業者の業況値	ポイント	-15.90	5.00	10.40	-3.20	-25.60	-
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.90	34
重要度	3.45	34

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・湖東に比べ、工場が少ない ・湖西地区へ企業誘致を促進すべき ・空きビルを活用したオフィスなどの環境づくり ・リモートワーク企業の誘致 ・IT企業やアプリ開発企業の積極的誘致

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
9	3	1	1	14	360,287	9	580,958	941,245

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	○	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標1の商工業振興の目安となる市内企業の付加価値額は、景気の回復基調が続いていたこともあり、昨年度から横ばいの1,628億円となり、目標を上回る達成状況であったため、順調であると評価する。一方、指標2の企業の業況を示すDI値は、△25.6となったため、やや不調であると評価する。以上のことから、施策全体としては、ほぼ順調であると評価する。</p> <p>国内産業の業況を踏まえると、比較的規模が大きな企業が市内経済を牽引し、付加価値額は横ばいであったものの、市内産業を下支えしている中小・小規模事業者は厳しい経営状況が続いており、新型コロナウイルス感染症の影響により業況は大幅に悪化した。</p> <p>今後は中小・小規模事業者を中心に既存企業の支援と起業家の事業化支援を強化するとともに、企業立地や既存企業の新規設備投資を促進していくことが重要である。</p> <p>また、地域産業振興の観点から、中小企業振興計画を抜本的に見直し、中小企業振興を核とした条例化やビジョンの策定などを検討していくとともに、円卓会議による商工団体等との連携や地域ビジネス支援室における企業支援を更に充実させていく必要がある。</p>
-------	--

施策34

令和2年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	農林水産課
施策名	02	農林水産業の活性化	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	03	経済が活性化し、元気なまちにします

<2. 施策概要>

課題	農林水産業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足の深刻化等により、十分な生産量が確保できない状況が続くなど、都市近郊農業という本市の地域特性が活かせていない。
目標とする姿	安心で安全な地場産品の充実などにより、農林水産業が活性化し、自給率が向上し、地産地消が進んでいる。
視点	1 大津の特性を活かした農林水産業の振興 2 地産地消の推進

<3. 成果指標>

指標				実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	人・農地プランの作成件数	件	9	13	11	12	12
2	漁獲量	t/年	110	120	89	76	49
3							

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.96	31
重要度	3.57	26

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・道の駅の活用が良い
- ・地産地消をより推進してほしい
- ・農林水産業への若手の育成
- ・特産品の開発に向けた伴走支援を行う
- ・官民一体でのマーケティングが必要
- ・農業従事者以外のアイデア取り入れ
- ・IT農業推進

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
7	5	0	0	12	277,599	19	198,636	476,235

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
○	○	△	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「人・農地プランの作成件数」については、本年度の実績値は12件であり、目標に対して92%の達成状況であったことから、評価としては、順調である。</p> <p>指標「漁獲量」については、本年度の実績値は49トンであり、目標に対して40%の達成状況に留まった。琵琶湖全域でのアユの成長不良もその一因であるが、評価としては不調としている。</p> <p>以上の指標から、取り組みはやや不調としている。</p> <p>施策配下の事務事業のうち主な取組事業の活力あるむらづくり推進事業、ほ場整備事業は計画どおり事業を進めることが適当、地産地消推進事業、水産振興事業、鳥獣害対策強化事業は事業の進め方に改善が必要と評価する。それ以外の施策を構成する事業の取り組みは、概ね順調であると評価する。今後も施策目標を見据え、主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進していく。</p>
-------	--

施策35

令和2年度 施策評価シート

所管部	産業観光部	所管課	商工労働政策課
施策名	03	就労支援と働き方の見直し	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	03	経済が活性化し、元気なまちにします

<2. 施策概要>

課題	少子高齢化の加速とともに人口減少が続く中、本市の持続可能な経済発展や市内への定住を促進するとともに労働力不足の解消にも取り組むことが求められている。 また、仕事と生活の両立が図られるワーク・ライフ・バランスの実現や誰もがやりがいや充実感を持って就労できることが求められている。
目標とする姿	老若男女を問わず働きたい人が希望する仕事に就き、誰もがやりがいや充実感を感じながら家庭や地域活動と両立して働くことができる環境が整っている。
視点	1 就労の確保 2 働き方の改革

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 有効求人倍率(大津公共職業安定所管内)	倍	1.13	1.20	1.15	1.22	1.11	-	
2 くるみん認定企業数	社	10	37	11	11	11	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.87	36
重要度	3.65	21

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・高齢者の再就職の充実を望む
- ・求職ニーズに合わせたマッチングシステムがほしい
- ・ベンチャー企業やサテライトオフィスを誘致する政策を
- ・学習支援や講座などの就労支援を増やす
- ・職場に保育施設をつくる
- ・ハラスメント教育の充実

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
2	2	0	1	5	47,876	1	18,430	66,306

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

◎	△	△	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>雇用情勢は、景気の回復基調が続いていることに伴い有効求人倍率が基準値の1.13(平成28年3月)に比べ△0.02ポイントの1.11となった。有効求人倍率は1.0を越えている中、移動労働相談事業の見直しによる効率化や、就職面接会の実施回数増加などを図ったことで、事業への参加者は増加しており、雇用対策として重要な役割を担う事業が実施できている。また、有効求人倍率が前年の1.22から△0.11ポイントとなったのは、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと推察され、今後は、この数値の動向に注視し、これまでとは異なる取組の検討もしていく必要がある。</p> <p>一方、働き方の見直しに関しては、「くるみん認定企業数」が基準値の10社から1社増えて11社となって以降新たな認定がなく、目標値の37社とは大きな開きがある。ワーク・ライフ・バランスセミナーなどを通じた事業者への啓発を継続してきたが、依然として市内事業所における働き方改革の取り組みは活性化していない状況にあることから、企業表彰を通じた好事例の発掘や研修会の充実を図ることにより、事業者への啓発活動に重点を置いた取り組みを展開していく必要がある。</p>
-------	--

施策36

令和2年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	環境政策課
施策名	01	再生可能エネルギーの活用	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにします

<2. 施策概要>

課題	多発する大規模な自然災害や原子力発電所の事故を契機として、地域における自立したエネルギーへの関心が高まっている。また、石油・石炭などの化石燃料から二酸化炭素排出量の少ない再生可能エネルギーへの転換を図り、低環境負荷型の持続可能なエネルギー社会の形成が求められている。
目標とする姿	再生可能エネルギーの利用拡大や更なる省エネルギー型の生活スタイルにより、可能な限り自立したエネルギーの普及と低炭素社会の形成が進んでいる。
視点	1 再生可能エネルギーを活用したまちづくり

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	家庭におけるエネルギー消費量(H22年度)に対する再生可能エネルギー等で創出されるエネルギーの割合	%	11.20	16.00	12.30	12.70	13.00	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.97	30
重要度	3.68	19

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの利用を推進しているのは素晴らしい 行政としての取り組みを知らない

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
1	0	0	0	1	24,549	0	0	24,549

<6. 評価>

◆主管課評価【順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調×】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	年度毎の目標値（令和元年度13.7%）に対する実績値は13.0%であり、95%を達成したことから取り組みは順調であると評価している。施策配下の事務事業は、目標達成のため必要であり、今後も引き続き計画どおり事業を推進していく。
-------	--

施策37

令和2年度 施策評価シート

所管部	環境部	所管課	廃棄物減量推進課
施策名	02	循環型社会の推進と土砂等の埋立て規制の強化	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	04	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにします

<2. 施策概要>

課題	大量生産・大量消費型の社会システムから廃棄物の3R(発生抑制、再利用、再資源化)による循環型社会へ向けた取組が求められている。また、近年、無許可埋立てや許可量を超える埋立てなどを起因とした土砂崩落が発生するなど、土砂等の埋立て等についての問題及び廃棄物の不法投棄問題が生じている。
目標とする姿	市民や事業者の環境への意識が高まり、廃棄物の3R活動と適正処理による循環型社会の形成が進んでいる。また、土砂等による埋立て等の規制により、適正な埋立て等が行われ、自然環境が保全されている。
視点	1 ごみの減量と再資源化 2 適正処理の推進 3 土砂等の埋立て規制の強化

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1 市民一人あたりのごみ排出量(資源ごみ除く)	g/人・日	699.90	686.00	713.60	696.00	701.90	-	
2 不法投棄に関する苦情件数解決率	%	88.00	90.00	99.00	92.00	95.00	-	
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	3.07	8
重要度	3.88	13

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・アプリのおかげで、ごみへの関心が高まった
- ・不法投棄の防止に力を入れてほしい
- ・スーパーやコンビニをまき込んで、もっとリサイクル分別に注力が必要
- ・環境に対する個人の意識の低さを感じる(教育が必要)
- ・食品パッケージから変わっていく必要がある
- ・リサイクルを民間企業と連携し進めて欲しい
- ・大型ごみが個別回収になり不便になった

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
20	2	0	0	22	3,853,585	15	6,734,758	10,588,343

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	<p>指標「市民一人あたりのごみ排出量」については、本年度の実績値は701.9g/人・日であり、目標に対して98%の達成状況であったことから、評価としては順調である。</p> <p>指標「不法投棄に関する苦情件数解決率」の毎年度の目標値は90%で、本年度の実績値は95%であり、目標値を達成していることから、評価としては順調である。</p> <p>以上のことから、評価指標としては順調であるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による生活様式の変更に伴い、ごみ排出量にも影響するため、その動向に注視しながら引き続き啓発活動に取り組んでいく。</p>
-------	---

施策38

令和2年度 施策評価シート

所管部	総務部	所管課	行政改革推進課
施策名	01	行財政改革の強化と持続可能な都市経営	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	05	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます

<2. 施策概要>

課題	少子高齢化の進展に伴い社会保障費が更に増加し、一方で、行政に対する市民ニーズが多様化することで、本市の行財政運営を取り巻く環境はますます厳しくなると考えられる。限られた財源を活用しながら、ニーズに照らした適切な市民サービスを提供し続けるために、最適な行財政運営につながる徹底した行財政改革の取組を継続しながら、持続可能な都市経営の実現を図ることが求められる。
目標とする姿	徹底した行財政改革が実施され、限られた財源を有効に活用した健全な行財政運営の下で、持続可能な都市経営が進んでいる。
視点	1 行財政改革と効率的な行財政運営の継続 2 民間活用の推進

<3. 成果指標>

指標		実績値						
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	行革プランにおける削減効果額	千円	0	4,055,326	4,202,022	2,566,602	4,430,004	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.85	37
重要度	3.57	25

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

<ul style="list-style-type: none"> ・改革も民営化も大事だが、何でも民営化すれば良い訳でない ・民間活用は検証とセットである ・効率ばかりが重要視されて色々なことがカットされないようにしてほしい ・赤字でも公的に維持しなければならないものはある ・集約・省人化への傾注と、経験豊かな正規職員の減少がみられる ・ビジョンのある行政改革が推進されていない ・幅広い意見を聞き、優先順位をつけ実施すること

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
15	2	3	2	22	1,837,868	47	29,974,381	31,812,249

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
◎	◎	◎	

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	平成30年度に引き続き、令和元年度においても大きく目標を達成しており、指標の目標達成に向け順調であると評価している。 今後においては、今般の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会情勢の劇的な変化に対し、行政には今まで以上に柔軟な対応が求められることから、真に必要なサービスを見極め、原則に捉われない大胆で柔軟な取組を推進していく。
-------	--

施策39

令和2年度 施策評価シート

所管部	総務部	所管課	公共施設マネジメント推進課
施策名	02	公共施設マネジメントの推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	05	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます

<2. 施策概要>

課題	これまで整備した公共施設の多くが、今後数十年の間に老朽化し、その修繕や更新などに大きな財政負担が必要になる。また、今後の人口減少や少子高齢化の進行により、将来に必要な公共施設やその需要が現状と異なってくることが予想される。そのため、公共施設の在り方を見直し、これらの課題に対応した対策を講じていくことが必要になる。
目標とする姿	人口構造の変化、市民ニーズ、地域の状況などを踏まえた行政需要と財政状況に応じた、公共施設の総量、機能の適正化、最適な施設維持保全の実施などの公共施設マネジメントが推進されている。
視点	1 公共施設等の適正化 (1) 市立幼稚園の規模適正化、(2) 市立小中学校の規模等適正化、(3) 市民センター機能の見直し、(4) 市営住宅マネジメントの推進

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	公共施設マネジメントの取組の進捗率	%	0.00	100.00	25.00	50.00	75.00	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.84	38
重要度	3.51	31

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・支所の統廃合について検討してほしい
- ・市民目線で、サービスレベルが維持できる検討を願う
- ・活用できていない便利な施設への図書館の移動など検討願う
- ・市民参画できるマネジメントが可能になれば素晴らしい

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
6	1	0	0	7	424,465	8	314,575	739,040

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

◎	◎	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	令和元年度においては、これまでの公共施設マネジメントの取組みを踏まえ、庁内横断的なプロジェクトチームによる公共施設の将来配置の検討を行うなど、概ね予定どおりに事業が進められていると考えている。 また、当施策関係の事務事業については、公共施設マネジメント基本方針や公共施設適正化計画の策定を踏まえ、分類別に個別計画の策定に向けた情報の集積を進めている。なお、市民センター及び小中学校等の適正化については、特に住民と密接な関係があることから進捗状況を踏まえ段階的に取組みを進めていく必要がある。
-------	--

施策40

令和2年度 施策評価シート

所管部	政策調整部	所管課	市政情報課
施策名	03	開かれた市政の推進	

<1. 基本情報>

実行計画体系	基本方針	03	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
	基本政策	05	徹底した行財政改革を進め、確かな都市経営を進めます

<2. 施策概要>

課題	市政への信頼と関心を高め、更に参画を促すためには、市民への説明責任と併せて、積極的な情報公開とオープンデータ等の市政情報の発信が求められている。市政情報を効率的かつ効果的に提供することが必要である。
目標とする姿	市民への情報公開と広報・広聴、市政情報の発信により、市民が必要な情報を適切に入手できるような仕組みが整えられている。
視点	1 知る権利を尊重した情報公開の推進 2 オープンデータ等による市政情報の発信

<3. 成果指標>

指標					実績値			
項目	単位	基準値	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1	年間プレスリリース数	件/年	881	916	903	905	926	-
2								
3								

<4. 令和元年度市民意識調査結果>

	施策値	総合順位
満足度	2.99	28
重要度	3.56	27

◆評価

【 満足:5点、やや満足:4点、普通:3点、やや不満:2点、不満:1点 】

【 重要:5点、やや重要:4点、普通:3点、やや重要でない:2点、重要でない:1点 】

◆令和元年度市民意識調査での主な意見

- ・高齢者に優しい情報発信を願う
- ・広報などによる周知度向上の検討
- ・まだ情報公開が少ないと思う
- ・情報が氾濫する中、どれだけ必要な情報を市民に届けるかは大切なこと

<5. 施策配下の事務事業評価結果>

総合評価				評価対象事業数		評価対象外事業数		令和元年度
継続	改善	見直し	廃止	事業数	事業費(千円)	事業数	事業費(千円)	総事業費(千円)
10	0	0	0	10	302,658	1	9,334	311,992

平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度

<6. 評価>

◆主管課評価 【 順調◎、ほぼ順調○、やや不調△、不調× 】

◎	◎	◎	
---	---	---	--

<7. 評価コメント> 評価及び方向性

令和元年度	令和元年度の実績としてプレスリリースの件数は、926件であり、目標値に対し102%の達成率であることから、進捗は順調である。 施策配下の事務事業については、概ね、計画どおりに推進されており、今後も、これまで同様に主な取組事業をはじめ施策配下の事務事業を推進していく。また、市民の知る権利を尊重した情報公開の推進を視点に、情報公開制度及び公文書の適正な管理の取組をさらに推進する。
-------	--